白鳥舎／岩田書院　　PDF版／隔月（毎奇数月１日）発行

地方史情報 151
2021年9月

地方史研究雑誌目次速報　飯澤文夫 編

＊本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは，発行元に直接お願いします。

北海道	1	富山県	35	岡山県	61
宮城県	2	石川県	36	広島県	62
秋田県	3	長野県	36	山口県	64
山形県	4	岐阜県	40	徳島県	65
福島県	4	静岡県	40	福岡県	65
茨城県	5	愛知県	41	佐賀県	66
栃木県	8	滋賀県	43	長崎県	67
群馬県	9	京都府	45	宮崎県	67
埼玉県	10	大阪府	48	鹿児島県	69
千葉県	11	兵庫県	52	沖縄県	70
東京都	16	奈良県	59	寄贈図書	70
神奈川県	27	和歌山県	59		
新潟県	32	島根県	60		

北　海　道

◆**文化情報**　北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西７丁目　かでる2･7ビル９階
℡011-271-4220　http://hokkaido-bunkazai.jp
◇**384**　2021.7　A４　8p
《創立60周年》

追　想	竹田　輝雄
北海道文化財保護協会創立60周年を迎えて	角　幸博
シリーズ　伝える　「豊郷神楽」の伝承に向けて（網走市）	湯浅　崇
まちのイチオシ　静かに終焉した長万部南部陣屋跡	浜田　偉大
小樽市指定無形文化財　向井流水法の伝播伝承と大竹作右衛門	

小樽市教育委員会教育部生涯学習課
博物館ひろば　松前藩最後の城のある町　厚沢部町郷土資料館　　富塚　龍
観る・学ぶ！　道内博物館・美術館・文学館の催事情報

◆北方民族博物館だより　北海道立北方民族博物館
〒093-0042網走市潮見309-1　℡0152-45-3888　1991年創刊
http://hoppohm.org
◇**121**　2021.6　A4　4p
新館長就任挨拶　ことばを通じたモノへの道先案内　　呉　人　惠
講座　川西オホーツク遺跡の再検討　講師：種石悠　　種石　悠
ロビー展　A.V.スモリャーク写真展　ロシアの民族学者がみた1950～
70年代のナーナイの暮らし　　山田　祥子
移動展　北方民族の釣針　　種石　悠
ロビー展「アイヌ民族の現在１　ラポロアイヌネイション」／第36回
企画展「トナカイと暮らす―タイガの遊牧民たち」

宮　城　県

◆東北民俗　東北民俗の会
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1　東北大学大学院文学研究科　宗教学研究室
FAX022-795-6022　年4000円　1966年創刊　http://www.tohokuminzoku.com
◇**55**　2021.6　A5　130p　1000円
宮城県南部の蛇図像がある石碑　　石黒伸一郎
亘理荒浜「はらこめし」のはじまり　　武田　恵美
「はらこめし」とその周辺―宮城の食文化(7)　　佐藤　敏悦
ふいご祭りとその変遷―衰退のなかで伝承される祈りの心　　今野　正巳
宮城県気仙沼市における打ち囃子の展開
―みなつまとりに着目した素描　　荒木　真歩
早池峰系関口神楽の成立について　　中嶋奈津子
岩手県一関市の「お飾り」　　東　資子
岩手県南のハリストス正教会
―旧仙台藩領北域教会・伝道地の変遷消長を整理する　　及川　宏幸
海難遺族と遺児―気仙沼地方の事例から　　小野寺佑紀
シタモノと刺網漁―福島県新地町の固定式刺網漁から　　川島　秀一
山之神講における山追いと供犠―福島県川内村小田代集落の事例から
金子　祥之

家畜守護神の現代　三津山智香
菅江真澄と冬季雷　稲　雄次
2020年度東北民俗の会　年次報告

秋 田 県

◆秋田民俗通信　秋田県民俗学会
〒010-0951秋田市川尻大川町2-8　秋田文化出版内　℡018-864-3322
年4000円　1974年創刊
◇**133**　2021.3　B5　4p
予言獣としてのアマビエ(後)　石郷岡千鶴子
「オシラサマ桜」に思うこと　石郷岡千鶴子
◇**134**　2021.6　B5　4p
悪疫退散の民俗―アイヌのよもぎ神など　小田島清朗

◆秋田歴研協会誌　秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5　渡辺方　1996年創刊
http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
◇**75**　2021.6　B5　24p
特集　秋田歴研協第27回大会　記念講演「マンガを活かしたまちづくりの最新事情」～文化を未来へつなぐことから見えてくるもの　大石　卓
用語解説　分限帳(6)（刈和野・角間川分）　大石　卓
歴史情報
伊能忠敬の物証―残されていた「触書」の写し　半田　和彦
自著を語る『秋田音頭考　西馬音内盆踊り考』　小田島清朗
新刊紹介　渡部豊彦追悼・遺稿集『平和の種をまく』　渡辺　修
シリーズ加入団体紹介(3)　北羽歴史研究会
文献情報　加入団体会誌、その他の会誌、著作等／催しもの情報

◆菅江真澄研究　菅江真澄研究会
〒011-0909秋田市寺内児桜1-5-55　古四王神社社務所内　℡018-845-0333
1981年創刊　http://w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇**96**　2021.5　B5　41p
巻頭言　創立四十周年記念事業を終えて　小笹　鉄文
菅谷真澄のきつねむすび　竹谷　克巳
真澄は何を記さなかったか　金児　紘征

真澄の記録した民俗芸能「囃子舞」
　―津軽・秋田の芸能を中心に読み解く　菊地　利雄
連載　真澄の一枚(28)　初庚申の男結びと門松
　『粉本稿』より（大館市立栗盛記念図書館提供）　菊地　利雄
真澄短信　游学舎で菅江真澄講演会
図書紹介　石井正己著『旅する菅江真澄―和歌・図絵・地名でたどる』
刊行物紹介　『菅江真澄没後記念祭資料集』　石井正己･松山修編／『真
　澄研究』25号　秋田県立博物館菅江真澄研修センター

山　形　県

◆聴　雪　新庄古文書の会
　〒996-0084新庄市大手町2-65　大場英一方　℡0233-29-2786　1997年創刊
◇**25**　2021.6　B5　99p
巻頭言　古文書と歴史へのロマン　早坂　武昌
学習会　第１部　丑御用諸願書留帳(3)―平岡村松沢家文書
　講師：新国吉朗／解読：大津純一・早坂武昌・武田晴美・梁瀬平吉
　　・阿部修一・佐藤周一・沓澤正昭
　解　説　新國　吉朗
　入力：解読文・解説文(新國吉朗)　新國　吉朗
学習会　第２部　古瀬本『古老覚書　巻八』
　講師：伊藤勉
　解　説　伊藤　　勉
　入力：解読文(大泉友子)　解説文(伊藤勉)
新庄古文書の会「会務報告」　大場　英一
　別記　「古瀬本　古老覚書　全八巻」(嶺金太郎収集文書)解読学習
　　会実績概要―担当講師・学習状況・『聴雪』掲載一覧など　大場　英一

福　島　県

◆郡山地方史研究　郡山地方史研究会
　〒963-8876郡山市麓山1-8-3　郡山市歴史資料館内　℡024-932-5306
　1965年創刊
◇**51**　2021.3　A5　110p
伊達氏天文の乱の展開　高橋　　明
文政七年郡山村の町昇格について―町昇格の経緯と費用を中心に　大河　峯夫

郡山教会百二十年史(1)―郡山福音教会史・日本基督教団郡山教会史　庄司　一幸
新井白石詩「登浅香山」訳註　安藤　智重
奥州鞭指荘とはどこ？　橋本捨五郎
近現代の熱海町を地図と碑石等で辿る
　―町内に残る昭和二六年議会文書から町の変遷を辿る　齋藤　誠一

◆**フークトーブ通信**　フークトーブ通信社
　〒960-8021福島市霞町9-38　シュタースティエ102室　山田英明方
　2015年創刊
◇**43**　2021.7　A4　2p
小滝清次郎氏寄稿の写真資料について　長島　雄一
フークトーブ紀行(43)　二岐温泉(天栄村)　及川　友江

◆**福島県史料情報**　福島県文化振興事業団
　〒960-8116福島市春日町5-54　℡024-534-9193　2002年創刊
　https://www.history.fcp.or.jp
◇**60**　2021.6　A4　4p
有限責任安積絹絲紡績会社の設立と渋沢栄一　明治22年5月11日付有
　限責任安積絹絲紡績会社定款（部分、『会社設置其ノ他』、明治・大
　正期の福島県庁文書3285）　渡邉　智裕
福島県御用達小川家の家法と道歌　山田　英明
福島へ伝えられた天明浅間山噴火の情報　渡邉　智裕
会津郡大新田・水根沢両村絵図と天狗岩の伝承　小野孝太郎
白河県の種痘に尽力した清水良斎・岡崎東海　小野孝太郎
明治時代の学校体操　山田　英明

茨　城　県

◆**茨城史林**　茨城地方史研究会（発売：筑波書林）
　〒310-0053水戸市末広町1-5-39　久信田喜一方　℡029-222-1228
　年3000円　1972年創刊
◇**45**　2021.6　A5　166p　1182円
巻頭言　コロナ禍と地方史研究　久信田喜一
古代常陸国真壁郡の郷について(3)―大村・伴部両郷を中心に　久信田喜一
『往復書案』にみる塙保己一とその周辺―『大日本史』編纂過程の一面
　鈴木　暎一

近世後期土浦藩の備荒貯蓄政策と地域社会
　―土浦藩領常陸国信太郡鳥山村を事例に　鈴木　直樹
寛政初年における土浦藩政の展開と課題
　―土屋泰直の藩内調査命令と荒地開発計画　千葉　拓真
浪士組・新徴組の茨城県出身者　あさくらゆう
茨城県初の裁縫学校創設者太田うめがめざしたもの
　―太田裁縫学校の変遷から　額賀せつ子
史料紹介
　常陸二の宮静神社と祝詞(1)―静神社の祝詞を中心として　栗原　亮
新刊紹介
　水戸市立博物館編『石川明善日記　第二巻』　並木　克央
　地方史研究協議会編『日本の歴史を原点から探る―地域資料との出会い』　武子　裕美
史料調査班調査報告　水戸市成沢区有文書・水戸市飯富町大井神社文書・茨城県高等学校ＰＴＡ連合会事務局旧蔵資料・水戸市飯富町柏家文書・ひたちなか市枝川小澤家文書・ひたちなか市埋蔵文化財センター保管文書の調査　久信田喜一
令和二年度　活動概況報告

◆下妻の文化　下妻市文化団体連絡協議会
　〒304-0056下妻市長塚乙77　℡0296-43-3418　1976年創刊
◇**45･46**　2021.5　A5　153p

表紙の写真　下妻市指定文化財　絵画「明治諸家画帖全十九図」
次世代の下妻市を担う子供たちを育む　猪野木雅明
良き友を創り、人生を楽しむために　武笠　昇
英語教育のまちづくり　横瀬　晴夫
長　寿　大塚　武彦
不易流行：教育に関する雑感　細野　晃一
戞々旅情―則ちゃん夏でも汗をかかない程涼しよ　外山　崇行
鹿島神宮について　國府田　清
祇園精舎　近藤　久雄
信州の三重の塔　植木　正明
茨城県下妻市に所在した淀藩領について　佐久間秀樹
沖縄を旅して思った戦争への思い　原部　司
秋の飛鳥を訪れて　根本　淑子
家族の支えに感謝　柳　操

『随想』 かわりゆく風景　吉原　好男
飯村丈三郎像―関東大震災の日の出来事　塚越　　節
活動のあと（令和元年度）／活動のあと（令和二年度）　各　団　体
鈴木前会長を偲ぶ　國府田　晋
令和元年・二年のあしあと　中山　春男

◆長塚節の文学　長塚節研究会
〒300-2707常総市本石下4639　℡0297-42-2003　年3000円　1994年創刊
◇26　2021.6　A5　73p　1000円

長塚節の書簡　日露戦争派遣軍、霜新八郎少尉への手紙　霜　禮次郎
茅葺き屋根の「生家」　黒田　次郎
子規の混沌・天と王―そして長塚節も同じく　松野　高尚
川村安宏訳『土』Earth の序文　飯島　雅行
土と青島　鳥井　憲一
長塚節小説作品の分析　桐原　光明
『土』と併せ読む文学(2)　ツルゲーネフ「猟人日記」　山形　洋一
長塚節の書簡　松田善四郎・かつ子(節の従姉妹)夫妻の監修した資料から読む“節の見立てと心について”　霜　禮次郎
平福百穂の「鴨」八首が長塚節「鍼の如く」の呼び水となった　山形　洋一
絵画にしてみたい長塚節の短歌　岩渕　憲弥
周辺の人々が語る人間　長塚節の登場人物について　飯塚　知子
長塚節の東京での拠点について　河合　　宏

◆飛耳長目　長久保赤水顕彰会会報
〒318-0103高萩市大能341　佐川春久方　年3000円
http://nagakubosekisui.org
◇31　2021.7　A4　24p

長久保赤水関係資料群693点　国の重要文化財指定記念　オリジナルクリアファイル／長久保赤水関係資料　国の重要文化財指定記念誌『長久保赤水と山本北山～漢詩論をめぐって～』　川口和彦編著　編集・発行：長久保赤水顕彰会
江戸時代の情報満載!!　伊能図の42年前に、考証だけで測量図にそっくりの日本地図　赤水図を教材とする新しい地図教育の全国モデルをめざして（日本大学経済学部教授・日本地図学会常任委員長　卜部勝彦教授授業）
茨城新聞掲載紙面　赤水の地図、教科書に　全国的な顕彰広がり期待

高萩・松岡中、授業で解説（「茨城新聞」2021年4月26日）

栃 木 県

◆史 談　安蘇史談会
〒327-0004佐野市赤坂町229　大髙八三郎方　℡0283-24-3232
年2000円　1985年創刊
◇37　2021.5　A4　275p
口絵写真　説明　地元に遺された佐野掛地　廣木雅子氏所蔵掛地／松永純一氏所蔵掛地　藤田　好三
巻頭言　とちぎ歴史資料ネットワークへのご理解とご支援を　海老原脩治
武士の成立と藤原秀郷―安蘇の名門武士団・佐野氏のルーツをさぐる　山本　享史
平将門・藤原秀郷の伝説　板垣　隆
史料紹介　鎌倉時代前期の佐野氏について　鴨志田智啓
大塔宮護良親王に関する六つの謎　上岡　一雄
大庵寺に伝わる鎗と薙刀について　冥賀　明儀
松村梅岡ほか詩「佐野十二詠詩画巻」(朝日森天満宮)
―「好学」の地の景観を選び、描き、詠む　末武さとみ
江戸時代に奉納された佐野の狛犬　山口秋葉子
天明鋳物伝説　茂木　克美
史料に読む幕末・下野国「出流山事件」(2)
―関東取締役や関東諸藩の動向を中心に　海老原脩治
小林眞齋の書　青山　守
鐙塚の始まりから現在まで　大川　圭吾
史料紹介　森鷗村発行の『文明新誌』その五　『文明新誌』に学んだ人々
『文明新誌』掲載作品・筆者目録「下」　山県有朋・副島種臣の作品紹介　廣木　雅子
田中正造と小中との関わり―「小中村　よもやま話」　坂原　辰男
下野・とちぎの民画　佐野掛地祝い絵遍歴備忘録　藤田　好三
大隈重信が語る佐野常民の別格官幣社唐澤山神社創建への苦難の道　大髙八三郎
安蘇史談会、とちぎ史料ネットへ加入　安蘇史談会
講座「第三六回安蘇の風土と歴史」の開催状況　安蘇史談会
表紙解説　旧佐野市内最古の狛犬　鷲宮神社(佐野市犬伏上町)　山口秋葉子著「江戸時代に奉納された佐野の狛犬」

群 馬 県

◆群馬歴史散歩　群馬歴史散歩の会
〒379-2154前橋市天川大島町317-1　℡027-223-2785
年4500円　1973年創刊　http://www16.plala.or.jp/kuzira226/
◇267　2021.7　A5　56p

口絵　岡崎の龍海院是字寺　井野　修二
井伊直政の箕輪分村と分封後
　―豊臣秀吉の直政に対する家臣化計画を中心に　生方　伸明
井伊直政ゆかりの地をめぐる　生方　伸明
小宮山楓軒が書き留めた上野国(前)　井野　修二
東宮鐵男は満洲市民の父だったのか―東宮鐵男について　東宮　春生
歴史拾い読み　第三回　布施辰治―内山愚童―長加部寅吉を結んで(1)
　石山　幸弘
講演会「太田道灌と長尾景春」で明らかになったこと　浜岡　宗一
石川雲蝶とミケランジェロ　山崎　正
事務局だより　歴史散歩のご案内　越後のミケランジェロ　石川雲蝶
　作品の寺々(新潟県)―魚沼盆地の展望と八海醸造、伊賀・南大和へ
　の旅―伊賀上野・室生寺・長谷寺／総会・歴史散歩について　(山崎)
表紙写真　龍潭寺（静岡県浜松市）　生方　伸明

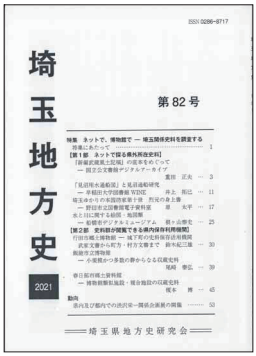
◆武尊通信　群馬歴史民俗研究会
〒372-0033伊勢崎市本町5226-12　永島政彦方　℡0270-32-9070　1979年創刊
◇166　2021.6　B5　14p

《特集
　シンポジウム「日記の歴史民俗学―変化と連続の地域資料論―」によせて》
開催趣旨　創立四〇周年記念事業実行委員会
日記資料としての『大泉院日記』　時枝　務
「日記」としての金銭出納簿からみる富岡製糸場工員のくらし　伊藤　克枝
群馬県女子師範学校初代校長「山高幾之丞」の日記について　阿久津　聡
日記にみる農業青年の休日　有馬洋太郎
桐高日記から見る歴史資料としてのブログ活用　井坂　優斗
日記購読会の活動から　『長楽寺永禄日記』現代語訳の諸問題　長谷川明則
『看聞日記』の中に「地域社会」を読む楽しさ　野口　華世
第117回例会記事　沼賀健一郎氏「群馬県におけるムカデ退治譚の受
　容」(沼賀)、大野秀彰氏「大正・昭和期郷土史研究者の交流と地域

意識―群馬・栃木・愛媛」（大野）
二〇二一年度総会の開催について　永島　政彦

埼　玉　県

◆埼玉地方史　埼玉県地方史研究会
〒330-0055　さいたま市浦和区東高砂11-1　さいたま市市民活動サポートセンター　メールボックスＢ13　年3000円　1975年創刊
https://saitama-chihoshi1952.blogspot.com
◇82　2021.6　A5　54p
特集　ネットで、博物館で―埼玉関係史料を調査する
特集にあたって
第１部　ネットで探る県外所在史料
『新編武蔵風土記稿』の底本をめぐって
―国立公文書館デジタルアーカイブ　重田　正夫
「見沼用水通船図」と見沼通船研究―早稲田大学図書館 WINE　井上　拓巳
埼玉ゆかりの本因坊家第十世　烈元の身上書
―野田市立図書館電子資料室　原　太平
水と川に関する絵図・地図類―船橋市デジタルミュージアム　根ヶ山泰史
第２部　史料群が閲覧できる県内保存利用機関
行田市郷土博物館―城下町の史料保存活用機関　鈴木紀三雄
飯能市立博物館―小規模かつ多数の群からなる収蔵史料　尾崎　泰弘
春日部市郷土資料館―博物館類似施設・複合施設の収蔵史料　榎本　博
動向　県内及び都内での渋沢栄一関係企画展の開催　太田　富康



＊新型コロナウィルス禍で、文書館、図書館、博物館などの史料保存利用機関で

軒並み、休館や利用制限措置がとられている。埼玉県立文書館は、現在も利用日時及び資料の事前予約制で、１回の利用は３時間以内に限られている。国立国会図書館東京本館も原則として抽選予約制で、１日あたりの入館者数を1000名程度に制限している。これは、文書、記録、文献などの史料が不可欠な地方史はもとより多くの研究者にとって大きな痛手であり、新聞の投書などで過剰な自粛ではないかとの批判もされている。一方で、機関によってはデジタル資料の利用拡大を図ったり、学校の授業目的ではあるが、著作権法を改正して資料のインターネット送信を緩和する動きも出てきている。

そうした状況下において、本特集は、「埼玉地域に関する貴重な史料を閲覧調査できるWebサイトや、地域の史料群を多数所蔵し公開している機関を、その史料群を前面に出して」紹介している。

「第一部　ネットで探る県外所在史料」では、国立公文書館デジタルアーカイブの『新編武蔵風土記稿』底本、早稲田大学図書館WINEの『見沼用水通船図』、千葉県野田市立図書館電子資料室の埼玉ゆかりの本因坊家第十世烈元の身上書、同船橋市デジタルミュージアムの水と川に関する絵図・地図類の4件紹介する。

埼玉県内の資料保存機関には、県立文書館をはじめ、各市に文書館、資料館、アーカイブセンターなどがあるが、物の展示を目的とする博物館にも、多くの史料群が存在し、利用できることは案外知られていない。そこで、「第二部　史料群が閲覧できる県内保存利用機関」は、行田市郷土博物館の武家文書や町方・村方文書、飯能市立博物館の市史編さん過程で収蔵した名栗村関係史料ほか、春日部市郷土博物館の武蔵野国埼玉郡粕壁宿（町）関係史料ほかの３件を、各館の事業概要、収集方針、利用方法などとともに紹介する。

第一部に関しては、「埼玉県立図書館デジタルライブラリー」で、貴重書（120点）、絵図（29点）、図書（96点）、近代の雑誌（18タイトル88点）がWeb上で公開されている。

新型コロナウイルスの一日も早い終息で通常開館の再開を願うものであるが、デジタル化の促進によって、史料の公開性と利用環境の整備が促進されるよう、禍を転じて欲しい。時宜にかなった素晴らしい特集である。

千　葉　県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12　荒井方　℡04-7182-2838

http://abikosisiken.main.jp

◇**228**（通535）2021.6　A4　8p

部会活動紹介その１　いっしょに楽しみませんか

歴史探訪部会／古文書解読日曜・火曜部会
古文書日曜部会　５月の活動報告　『天保十四年　道中日記』（増田惣兵衛家文書）／『正徳六申年　元文三午年　安永八亥年　御裁許書写』　鈴木江里子
古文書火曜部会　５月の活動報告
「牧土用御用留帳（文政十一年六月　花野井吉田家文書）」　田中　康弘
歴史部会　４月の活動報告　「原胤昭鵞湖望郷」　越岡　禮子
合同部会　５月の活動報告　布佐台観音堂
資料「航空写真でみる古利根沼周辺の今・昔」　山本　包介

◇**229**（通536）2021.7　A4　26p
我孫子市青山の御備社（オビシャ　御斗渡し）　近江　礼子
古代史研究グループ　６月の活動報告　「我孫子古墳群について」　報告者・星野征朗
歴史部会　５月の活動報告　「我孫子発　弥生時代を考える」　中嶋　正義
古文書火曜部会　６月の活動報告　花野井吉田家文書「牧土用御用留帳（文政11子年六月）」　新名　克子
我孫子の社寺を訪ねる（40）　布佐地区（1）　布佐台観音堂　山本　包介
井上家文書研究部会　５月・６月活動報告　５月活動報告　№1328「御吟味ニ付奉申上候書付之事」寛政3年（1791）亥10月、№839「去戌年村小入用改差上帳」寛政3年（1791）亥3月、№687「宗門人別御改書上帳」寛政3年亥3月／6月活動報告　№965「御用留」　白神　正光
古文書解読日曜部会　６月の活動報告　「正徳六申年・元文三午年・安永八亥年御裁許書写」布佐石井家文書　白神　正光
随想　ローカルな歴史から考えること　山崎　章藏
2021年度定例総会議事録　書記・後藤美鈴
歴史散歩　古戸稲荷神社（貝塚）とその周辺を歩く　茂木　勝巳

◆佐倉市史研究　佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当
〒285-0038佐倉市弥勒町78　℡043-486-3478　1983年創刊
◇**34**　2021.3　A5　146p　750円
西村勝三と横浜の居留外国人　斎藤多喜夫
幕府海軍に出仕した佐倉藩士田辺十三郎とその周辺
―「業前之場所」の藩士から見る幕末期の幕藩関係と「家」　水上たかね
佐倉の古墳出現期について
―大崎台遺跡の分析（中）「叩き甕」から　菊池　健
資料紹介

佐倉藩士岩瀬清十郎「横浜表出張手控」　大沼大晟／宮間純一
東都下りとなった佐倉藩の刀工・細川忠正の消息
―日向打ち（佐倉市指定文化財を含む）の遺作を追う　井原　重之
やぶにらみ「佐倉真佐子」ものがたり　田中　征志
市史編さん事務局から
資料紹介　特攻戦没者・中村正少尉の遺品について
資料紹介　伊勢勝造靴場譲渡条約書について

◆大警視だより　大警視川路利良研鑽会
〒275-0021習志野市袖ヶ浦5-5-10　廣瀬權方
◇12（通41）2021.7　A4　52p
巻頭言　「てとろどときしん」　川路　利永
この際、川路利良大警視をもう一度勉強する　廣瀬　權
福永英男前警察史研究部会長追悼集
福永英男前警察史研究部会長略年譜・著作目録（抄）
福永英男前警察史研究部会「川路大警視と漢詩」
参考　戸高公徳氏のヘーン大尉研究
「行政警察」と「司法警察」：イタリア・ローマの視点から　佐々木　健
「最初の否定論者」藤村守美について　三浦　裕史
「読みやすさ」と「地域史」とのはざまで―『須佐に住んだ武士一永代
家老益田家と家臣たち―』の執筆を終えて　重田　麻紀
新潟大学退職に当たって―中国・台湾研究の思い出　柴田　幹夫
暗い時代の人々―博棣華と朱紹文のこと　阪本　尚文
私の警察学校体験―川路魂研鑽の日々　松井　幹郎
いわゆる外勤警察所感　小杉　修二
謙信道―川中島に向かう越後上杉軍のルート　松宇　正一
資料紹介　鷲巣敦哉及び植木鬼仏両氏の個人写真について―警察講習
所第13期卒業アルバムから
紹　介
中田薫博士（1877～1967）単行書目録
警察政策学会資料第114号、同第115号『近代警察史の諸問題―川路
大警視研究を中心に―』（第２輯、上下）の発行について
連載資料　大警視川路利良関係文献抄　連載32

◆千葉県立中央博物館研究報告
〒260-0852千葉市中央区青葉町955-2　℡043-265-3111　1989年創刊

www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/
◇15-2　2021.3　A4　163p
養老川中流、市原市田淵の地磁気逆転地層露頭周辺の地形景観とその
　成り立ち　吉村光敏／八木令子
千葉県立中央博物館生態園舟田地におけるモズクガニ *Eriocheir japonica*（十脚目：短尾下目：モズクガニ科）　髙山　順子
千葉県東京湾奥部におけるクロアジサシ *Anous stolidus* の記録
　鎌田泰斗／冨田健斗／伊藤玲駆／平田和彦／関島恒夫
COVID-19（新型コロナウィルス感染症）感染拡大防止対策下の博物館
　活動における３Ｄプリントの有用性の検討　宮川　尚子
生態園のコケ植物、30年の変遷　古木　達郎
千葉県産の地衣類（11）　千葉県新産の *Cladonia rappii* ヒメヤグラゴケ　坂田　歩美
絵葉書や浮世絵などでたどる房総のきのこ文化
　―房総で何故ハツタケが愛されているのか？　吹春　俊光
学校標本をどのように取り扱うべきなのか
　―千葉県睦沢中学校の貝類標本を例として　黒住　耐二
平成30年度から令和２年度における入館者数の統計解析
　―中央博物館の来館者変遷の傾向およびコロナ禍の影響など　奥田　昌明
歴史学　幕末下総の名主家文書にみる初茸贈答　田川裕美／高橋覚
◇特別号11　2021.3　A4　99p
《房総半島の海洋生物誌Ⅱ―分館海の博物館の研究成果に基づいて》
房総半島の海洋生物誌（2011～2020年）の概要　川瀬裕司／奥野淳兒／菊地則雄
千葉県勝浦市沿岸の海産植物相（改訂）　菊地則雄／宮田昌彦
房総半島に生育する紅藻ソゾ属の化学的多様性　鈴木稔／菊地則雄
千葉県立中央博物館分館海の博物館に収蔵されている千葉県産有藻性
　イシサンゴ類標本（刺胞動物門：花虫綱）　立川　裕之
「海の観察ノート　№14　ゴカイのなかまを監査しよう」に収録され
　た多毛類標本について　柳　研介
千葉県館山湾からドレッジにより採集された興味ある貝類　立川裕之／黒住耐二
千葉県立中央博物館分館海の博物館所蔵標本に基づく千葉県勝浦市吉
　尾周辺の潮間帯産十脚甲殻類相（甲殻亜門：軟甲綱）
　奥野淳兒／村田明久／髙山順子
千葉県勝浦市沿岸礁域の海水温
　―温度ロガーによる2010～2020年の記録　川瀬　裕司
温度ロガーで計測された千葉県勝浦市沿岸の海水温と気温データ
　（英文）　川瀬　裕司

◆**千葉史学**　千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33　千葉大学文学部内　℡043-251-1111

年4000円　1982年創刊　http://chibareki.blog.fc2.com

◇**78**　2021.5　A5　120p

巻頭随想　科学軽視の恐ろしさ

—「コロナ禍」と「学術会議任命拒否問題」に寄せて　栗田　禎子

歴史随想

長尾藩士娘加茂令子のこと　外山　信司

知られざる戦前の集団体操—「大日本国民体操」と「日本体操」　青木　祐一

古代国家の対外観念をめぐる基礎的考察　伊藤　循

二代目県令船越衛による県庁機構の整備について　柏原　洋太

千葉県における徴兵失踪・所在不明者—データベースは語る　鳥塚　義和

中先代の乱における足利尊氏の恩賞宛行権について

—『梅松論』の記載をめぐって　飯田　雄一

史料紹介　百年前の世界的感染症「スペイン風邪」史料の発見　久野　一郎

小特集　気球連隊格納庫解体問題をめぐって

「軍都千葉」の形成　中村　政弘

陸軍気球隊・気球連隊について　小暮　達夫

第二格納庫の保存運動　市原　徹

旧陸軍気球連隊第二格納庫見学会(参加記)　笹川　知樹

「要望書」(千葉市あて)

新刊紹介

湯浅治久著『中世の富の権力　寄進する人びと』　外山　信司

『市川市史　歴史編Ⅳ—変貌市川市域—』　高林　直樹

見学記

松戸市立博物館企画展「松戸と徳川将軍の御鹿狩」　鈴木　葵

千葉市立郷土博物館特別展「軍都千葉と千葉空襲—軍と歩んだまち・戦時下のひとびと—」　高木晋一郎

国立歴史民俗博物館企画展示「性差の日本史」　長谷川亮一

参加記　千葉市立郷土博物館主催　二〇二〇年度「歴史散歩—房総往還をゆく(寒川地区)—」　菅原　憲二

例会報告

古代史部会　2020年10月例会　立原遼平「房総地域における平安期施釉陶器出土遺構の特質」(大会準備報告)　文責・石渡芳樹

近世史部会　2020年10月例会　「房総の牧」研究のこれまでのこれから／2020年11月例会　松戸市立博物館企画展「松戸と徳川家康

の御鹿狩」に寄せて　　文責・小田真裕

東 京 都

◆アーカイブ通信　ネットワーク・市民アーカイブ
〒190-0022立川市錦町3-1-28-301　℡042-540-1663　年6000円
2014年創刊　http://www.c-archive.jp
◇**22**　2021.7　A4　8p
『ようこそ！市民アーカイブ多摩へ』出版記念シンポジウム報告　市民活動資料を収集・保存・公開する意味―見えてきたこと・見落としてきたこと　体験的アーカイブ論　加藤一夫さん／「資料と向き合う」ということ　松井隆志さん／アーキビストの視点から　平野泉さん／会場から
市民アーカイブ多摩の四季(8)　夏　スイフヨウ(酔芙蓉)　邑田　仁
私と市民活動資料(16)　アーカイブするということ
―未来の活動家や研究者のために　中島　保男
ミニコミ紹介
『日野・子どもと本の出会いの会ニュース』
日野・子どもと本の出会いの会　小島　義範
『はんげんぱつ新聞』　反原発運動全国連絡会　西尾　漠
市民アーカイブ多摩の資料棚から(14)　アジア・太平洋戦争　中村　修
第７期緑蔭トーク報告　第１回　4月24日　「沖縄は大変ですね」と言われたくない３つの理由　平良愛香さん　記録・鈴木清隆
来館者から（1）　障害者支援の研究に取り組んで　加藤　旭人
ネットワーク・市民アーカイブ2021定期総会報告　新書庫整備と参加の仕組みづくり

◆あしなか　山村民俗の会
〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2　塩野谷明夫方　℡048-465-7818
年5000円　1939年創刊　http://www8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇**320**　2021.4　B5
表紙解説　木曽駒ヶ岳遠望図（志賀重昂著『日本風景論』表紙絵）　編　集　室
木曽駒ヶ岳登山史と山麓の歴史民俗―長野県上松より(1)　楯　英雄
松平定信制作・谷文晁画筆『公余探勝図』(完結編)　鷲頭　隆
北陸の八百比丘尼伝承(後編)―石川・富山県　石森　長博
山里だより(33)

川越市福原地方の「ヤマ」―武蔵野の畑作農家聞書　井上　浩
草餅のいろいろ―丹波美山から　西浦　左門
旅の草ぐさ(31)　天城湯ヶ島の湯谷権現―世古之浦・愛宕山麓にて　岡倉　捷郎

◆**足立史談**　足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001足立区大谷田5-20-1　足立区郷土博物館内　℡03-3620-9393
◇**640**　2021.6　A4　4p
“関屋”を名乗った絵師、関屋圭明　小林　優
あだち民具図典(6)　天秤棒(2)　荻原ちとせ
はい、文化財係です。(28)　西門寺半鐘―小沼播磨守の名品　佐藤　貴浩

◆**足立史談会だより**
〒120-0001足立区大谷田5-20-1　足立区郷土博物館内　℡03-3620-9393
◇**399**　2021.6　A4　8p
夏の区民教養講座・郷土博物館と共催　「江戸っ子」河合栄治郎…千住生まれの「戦闘的自由主義者」松井慎一郎先生
港区学童疎開資料センター機関誌『赤とんぼ』から
民主主義を見直そう　戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(11)　編・堀川和夫
足立の先人譚　千住に地縁・周縁を結んだ人々　千住三丁目編　小金井喜美子、伊藤晴雨、金杉大五郎／千住一丁目編(補遺)　森鷗外　相川謹之介
足立区俳句連盟　143回　春季俳句大会／小学生の俳句(芭蕉翁顕彰会から)
小泉健男氏資料から　井上安治版画小品「綾瀬川朝」／小泉氏史料「綾瀬川」「綾瀬の枝流」「綾瀬川の枝流」／「綾瀬の帰帆」明治38年(柳下香代子さん所持)／千住新橋開橋式記念絵葉書　大正13年6月千住新橋開橋協賛会／「尾竹橋」／千住新橋の花火大会プログラム／綾瀬川にはネムノキ…／昭和七年旧古村古道図(２版　平成3年)

◆**あるむぜお**　府中市郷土の森博物館
〒183-0026府中市南町6-32　℡042-368-7921　1987年創刊
http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇**136**　2021.6　A4　8p
表紙　復元建物、郷土の森に建つ　その1
旧府中尋常高等小学校校舎(1982年(昭和57))
復元建物、郷土の森に建つ　その1　旧府中尋常高等小学校校舎　佐藤　智敬

最近の発掘調査　8.5メートル以上もある長大な竪穴建物跡
　八幡町二丁目　野田憲一郎
NOTE　江戸時代の遠馬と六所宮　花木　知子
府中の史料に見る　江戸時代の流行病(5)　コロリの襲来　花木　知子
新刊案内　『府中市郷土の森博物館紀要』34号／府中市郷土の森博物
　館ブックレット22『中世東国と年号』
太陽系惑星ツアー(1)　水がないのにどうして「水」星？　村井　太一

◆安藤昌益と千住宿の関係を調べる会通信

〒123-0852東京都足立区関原2-14-20-105　矢内信悟方　℡03-3887-8021
2004年創刊　http://shoueki-senju.com
◇**99**　2020.9　A4　24p
調査研究報告(57)　調査研究の「新たな一〇年」に向けて―川村真斎
　の『真斎聚方』調査を報告し、川村真斎像を考察する(前篇)　矢内　信悟
「安藤昌益と千住宿の関係を調べる会通信」(1号～49号)総目次
『佐藤元蔓日記』A4判　本文ハードカバー356頁・補注ソフトカバー
　118頁　二分冊函入　本体4500円　歴史春秋社刊　編者：安藤昌益
　と千住宿の関係を調べる会佐藤元蔓解読班　2020年4月30日発行
事務局報告(201)　コロナ禍の中で調べる会活動／活動予定
◇**100**　2020.11　A4　28p　＊終刊
参考資料　四つ目の栄徳印現る　相川謹之助
調査研究報告(58)　調査研究の「新たな一〇年」に向けて―川村真斎
　の『真斎聚方』調査を報告し、川村真斎像を考察する(後篇)　矢内　信悟
「安藤昌益と千住宿の関係を調べる会通信」(50号～99号)総目次
『佐藤元蔓日記』A4判　本文ハードカバー356頁・補注ソフトカバー
　118頁　二分冊函入　本体4500円　歴史春秋社刊　編者：安藤昌益
　と千住宿の関係を調べる会佐藤元蔓解読班　2020年4月30日発行
事務局報告(203)　コロナ禍の中での第Ⅱ期調べる会活動／橋本家墓
　域改修と新説明板の設置作業／藁屋橋本家は安政二年に米屋稼業を
　廃棄していた／まちづくりの支援事業が終了しました／活動

◆板橋史談　板橋史談会

〒174-0075板橋区桜川2-27-3　大澤鷹邇方　FAX03-5922-6460
1966年創刊　http://www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/
◇**308**　2021.5　B5　28p
表紙写真解説　日本製鉄東京製造所の新河岸川船着場と荷役設備

写真と文・井上富夫
橋をめぐる民俗(1)　橋と夢、占い　松崎　憲三
常盤台天祖神社文書について(5)―昭和二十四年四月十一日起工　天祖神社土地整地勤労奉仕者名簿　小林　保男
武蔵国豊島郡蓮沼村金剛院の廃寺とその歴史的背景(2)　井上　富夫
区政つれづれの記(4)　福祉編(1)　松浦　勉

◆奥武蔵　奥武蔵研究会
〒175-0092板橋区赤塚7-18-7　https://www.okumusashi.club
◇**439**　2021.5　B5　24p
真実を伝えるということ　小泉　重光
私の登山記録帳(2)　二子山初登山記と猟犬のお話　成川　茂雄
鐘撞堂山の洞穴後日談　野口　実
思い出の中の藤本さん(6)　藤本一美氏のユニークな展望図　町田　尚夫
下山の時　加藤　恒彦
ヒメホタル随想　関口　洋介
2020年　奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭難　町田　尚夫
山行報告
秩父順礼江戸古道(8)　小泉　重光
椚平のパワースポット　吉田美知子
児玉三十三霊場めぐり(5)　西東　昭夫
大仁田山　河野　尚久
金嶽から士峰山　吉田美知子
サクラソウ二つの花めぐり　大川　満代
４月の集会山行　サクラハイク　清雲寺　村木　悦子
高根山から鐘撞堂山　高橋　澄夫
猪狩山　吉田美知子

◆儀礼文化ニュース　儀礼文化学会
〒160-0012新宿区南元町13-7　℡03-3355-4188
◇**222**　2021.6　A4　8p
催事スケッチ　新潟県佐渡市小木地区　小木港祭り　写真と文・久保田裕道
儀礼文化を語る　儀礼文化論　第一回儀礼文化講座
民俗芸能のカタとカタチ　久保田裕道
特集　ネパールの儀礼文化―カトマンズ周辺の祭りをみる
写真と文・久保田裕道

会員を訪ねる　神田明神資料館　東京都・神田神社
ニュース　文化財保護法の改正／明治神宮宮司に九條道成氏／伝統芸
　能文化復元活性化共同プログラム募集
儀礼文化アーカイブ　第一回地方大会　みちのくの祭りに学ぶ
　―神明社の飾山囃子　松崎　睦彦
書棚　梅田千尋編『新陰陽道叢書　第三巻　近世』　鈴木　昂太

◆市史研究きよせ　清瀬市
〒204-8511清瀬市中里5-842　清瀬市企画部市史編さん室市史係
℡042-497-1813　2016年創刊
◇6　2021.3　A5　83p
口絵　『清瀬　あの頃　この景色　市制施行50周年記念誌』／きよせ懐
　かし写真館～市制施行周年記念事業
市民が語る清瀬の歴史　「病院街での日々」　現代部会
　入院と回復後の市民生活―酒井美加子さんに聞く
　　話者：酒井美加子　聞き手・黒川徳男
　教会が結ぶ療養者とコロニーの縁―清瀬聖母教会の方々に聞く
　　話者：武田健一さん・渡邉勝弘さん　聞き手・黒川徳男
　結核患者を支えた医療ソーシャルワーカー―貝塚レイさんに聞く
　　話者：貝塚レイ　聞き手・黒川徳男
紹介　下宿内山遺跡の近世～近現代資料と調査　考古部会（文責・薮下詩乃）
昭和四十五年十月一日　清瀬市市制施行
清瀬市市制施行50周年記念パネル展「清瀬なつかし写真館『昭和45年』
　清瀬市誕生の年」
専門部会の動き
　考古部会／古代・中世部会／近世部会／近代部会／現代部会
市史で候　十九の巻　昭和のゴミ箱詐欺?!／四十三の巻　清瀬の象徴
　／七十二の巻　療養所ノ文芸同人誌求ム
石碑・石仏探訪（4）
　金山大権現の石碑　齊藤　隆雄
　石田波郷句碑　小西　一午
　平和の塔　黒田　一美

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース　練馬区立石神井公園ふるさと文化館
〒177-0041練馬区石神井町5-12-16　℡03-3996-4060
http://www.neribun.or.jp/furusato.html

◇41　2021.7　A4　4p

企画展「発見！地図から練馬を見てみよう」／企画展「思い出のとしまえん」

企画展「発見！地図から練馬を見てみよう」開催中／令和2年度寄贈・寄託資料

企画展「思い出のとしまえん」／展示予定資料を少しだけご紹介！

練馬城趾豊島園全景　昭和8(1933)年頃　小宮佐知子

◆**自由民権**　町田市立自由民権資料館紀要

〒195-0063町田市野津田町897　℡042-734-4508　1987年創刊

◇34　2021.3　A5　116p

《特集　いま再び、牧原憲夫を読む》

特集にあたって

後続世代からみた牧原民衆史について　阿部　安成

「せめぎあいの場を生きる」と「プロセスとしての国民国家」の「力点」をめぐって―1990年代半ば以降の牧原憲夫　大門　正克

敗者の遺産を継ぐ―「心の焔」をかきたてて　小林　瑞乃

横浜の政談演説結社「顕猶社」再考　松崎　稔

書　評

岡安儀之『「公論」の創生「国民」の誕生―福地源一郎と明治ジャーナリズム』　寺島　宏貴

安在邦夫『左部彦次郎の生涯―足尾銅山鉱毒被害民に寄り添って』　赤上　剛

新刊紹介　藤田覚『日本の開国と多摩―生糸・農兵・武州一揆』　小林　風

民権ネットワーク

北海道　國岡　健

青森県　河西　英通

山形県　升川　繁敏

福島県　鈴木　吉重

茨城県　飯塚　彰

埼玉県　鈴木　義治

千葉県　矢嶋　毅之

東京都　福井　淳

多摩地区　松崎　稔

神奈川県　野崎　昭雄

新潟県　横山　真一

愛知県　中元　崇智

高知県　汲田　美砂
福岡県　江島　香
熊本県　水野　公寿
鹿児島県　久米　雅章
激化事件　田崎　公司
旧幕臣　樋口　雄彦
田中正造　赤上　剛
文　学　松原　真
自由民権運動関係文献情報(34)

◆**城郭だより**　日本城郭史学会会報
〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号　℡03-3967-1948
年6000円　1993年創刊
◇**114**　2021.7　A4　6p
江戸城三の丸尚蔵館　工事現場から出土石垣は家康期の遺構か
最近の城郭ニュースから１　犬山城天守現存最古を裏付け／福山城天守北壁の鉄板／佐伯城の二の丸御殿の礎石群を確認
最近の城郭ニュースから２　各地で落書き、傷付けが相次ぐ／鳥羽山城で新たな石垣／尾高城址で四二年ぶり調査／彦根城の世界遺産推薦書　文化庁に再提出
最近の城郭ニュースから３　和歌山古座川流域で中世の山城址を三か所発見／伊予松山城　北御門の位置と規模判明／今井城発掘調査現地説明会資料より
目安箱(再録)　城跡か・城址か　西ヶ谷恭弘

◆**しらべるかい**　安藤昌益と千住宿の関係を調べる会
〒123-0852東京都足立区関原2-14-20-105　矢内信悟方　℡03-3887-8021
2009年創刊　http://shoueki-senju.com
◇**25**　2021.1　A5　40p
明けましておめとでとうございます　相川謹之助
二〇二〇年活動の記録　事　務　局
貧農史観説を嗤う　戸崎　孝司
安藤昌益と千住の謎を解く(8)　矢内　信悟

◆**すみだ郷土文化資料館年報・研究紀要**
〒131-0033墨田区向島2-3-5　℡03-5619-7034　2015年創刊

http://www.city.sumida.lg.jp/sisetu_info/siryou/kyoudobunka/
◇7　2021.3　A4　15+40p
〈研究紀要〉
口絵　史料翻刻１　弘前藩庁日記(江戸日記・宝永２年正月)
史料紹介　新史料「寛政天保度花火一件」からわかる江戸の花火の実態について―打上花火を中心に　福澤　徹三
史料翻刻１　「弘前藩庁日記(江戸日記・宝永２年正月)」　福澤　徹三
史料翻刻２　津軽家文書「分限帳(宝永三年　御日記方)」(3)　福澤　徹三

◆西郊民俗　西郊民俗談話会
〒112-0005文京区水道2-3-15-403　小池淳一方　年2000円　1957年創刊
http://seikouminzoku.sakura.ne.jp
◇**255**　2021.6　B5　29p
シャックリはびっくり　常光　徹
詐欺事件として誤認識された「お竹如来」物語　大喜多紀明
「伺い地蔵」の帰還
―上野浄名院の巡行地蔵のその後と岩船山高勝寺の「お尋ね地蔵」　林　京子
古河市の提灯竿もみまつり　印出　隆之

◆世田谷区誌研究会会報
〒158-0094世田谷区玉川3-30-5　野岸敏雄方　年2000円
http://fsv.setagaya-kushiken.jp
◇**6月号**　2021.6　A4　4p
4月・5月の活動／6月の状況
世田谷の民話　作者：桜井正信
世田谷の民話(3)　赤い血をふく野毛の大塚古墳　作者：桜井正信／現在の民話のふるさと　野毛大塚古墳
世田谷の民話(4)　三本杉はよいお杉　作者：桜井正信／現在の民話のふるさと　三本杉のあった場所
◇**7月号**　2021.7　A4　12p
７月　せたかい71号を発刊します
紹介する書籍・世田谷区内図書館で閲覧・借出し可能　『区史研究　吉田谷』創刊号／『代田のダイタラボッチ　巨人伝説読本』／『江戸の秘密　広重の浮世絵と地形で読み解く』／『東京「暗渠」散歩―失われた川を歩く』／『NHK浮世絵EDO-LIFE　浮世絵で読み解く江戸の暮らし』

企画展　世田谷区立郷土資料館　ミニ展示「社寺の守り札―信仰と厄除け」／齊田記念館　特別展「蘭字　知られざる輸出茶ラベルの世界」
世田谷の民話(5)　いま、木喰(もっくい)、九体の仏をほる／現在の民話のふるさと　九品仏浄真寺　作者・桜井正信
世田谷の民話(6)　奥沢城のカヤの木の物語／現在の民話のふるさと　奥沢城址は、九品仏浄真寺が創建　作者・桜井正信
世田谷城の歴史(吉良氏と弘徳院)／世田谷城の構造(縄張)について／調査履歴(略)／出土遺物について／第１図　世田谷城跡　第2～7次調査区の位置／第２図　世田谷城跡縄張想定図／第３図　江戸時代の絵図にみえる世田谷城跡

◆**大道芸通信**　日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101　光田憲雄　℡03-3307-2146
http://daidogei.info
◇**354**　2021.5　A4　2p　100円
疫病神退散を願う「疫神差紙」
『熙代勝覧』が載せる生業(16)
◇**355**　2021.6　A4　2p　100円
『熙代勝覧』が載せる生業(17)（大尾）
◇**356**　2021.7　A4　2p　100円
鯰絵の「ちょぼくれちょんがれ」／小塚原天王宮
幾世餅／牛頭天王ご利益の事

◆**東京産業遺産学会　NEWSLETTER**
〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10　新蓮根団地105　多田統一方　FAX03-3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43　柚須紘一方　FAX048-479-7490　年2000円　http://tias3.web.fc2.com
◇**148**　2021.5　A4　6p
奥原一三(おくはらかずみ)新会長の挨拶
ドイツの蒸気機関車メーカー「オーレンシュタイン・ウント・コッペル社」について　文・写真提供　久保健
報告　特別講演「関東酸曹(株)が製造したからみ煉瓦とその現況」　文・柚須紘一／写真・領塚講師の映像から
文献紹介　『地理から学ぼう　ちばの魅力　おもしろ半島ちば２』　多田　統一
産業遺産よもやま話　文・写真　平原国男

報告　講演会「産業遺産情報センターの現状と展望」　記録・多田統一
文献紹介　『日本の文様　解剖図鑑』　筧菜奈子著　多田　統一
お知らせ　名称変更　「東京産業遺産学会(TIAS)　NEWSLETTER」
茨城県常陸太田市の赤煉瓦建築物(2)　「旧稲田家住宅赤煉瓦蔵」(2)
文・写真　八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
〒136-0073江東区北砂1-5-4　政治経済研究所　℡03-5857-5631
年2000円　2002年創刊　http://www.tokyo-sensai.net
◇39　2021.7　A4　8p
岐路に立つ全国戦没者追悼式　吉田　裕
政治経済研究所　代表理事　齊藤　壽彦
「東京大空襲を語り継ぐつどい」をオンラインにて開催しました
「東京大空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い」　河合　節子
今年度のセンターの取り組みについて
今年度の事業計画について簡単にご紹介します
夏休み特別企画のお知らせ　「このまちの空襲を若者たちが伝えてみた―オンラインでつなぐ東京と水戸―」、「紙芝居で考える戦争・空襲」、「空襲で両親をうしなった子どもたち」、「クイズで学ぼう、戦時下のくらし」
体験者通信「話・輪・和」　竹内　静代
ガイドボランティアとして　川崎優里奈

◆練馬郷土史研究会会報
〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806　鎌田茂男方　℡03-3977-3091　1956年創刊
◇381　2021.7　A4　2p
練馬の城を往く(26)最終回
h．幻の城郭地名・根古谷(練馬区石神井町)　八巻　孝夫

◆東日本部落解放研究所ニュース
〒111-0024台東区今戸2-8-5　℡03-5603-1863　1986年創刊
http://www.hblri.org
◇99　2021.6　A4　4p
第36回総会　書面での総会として開催
情報　ラムザイヤー論文問題―その後　(事務局　畠山)

◆民俗建築　日本民俗建築学会

〒162-0843新宿区市谷田町2-33　法政大学デザイン工学部建築学科内

℡03-5228-1496　年9000円　http://www.folkhouse.org

◇159　2021.5　B5　65p

扉絵　旧増田栄司家　幕末の千葉県　下総の民家：佐倉市　草ぶえの丘に移築された　2012年1月　道塚　元嘉
巻頭言　北海道の歴史的建造物の保存をめぐる10年間の動向　角　幸博
2020年度大会発表研究論文
奥能登の民家からみる能登Ⅲ型、奥能登型の変容に関する研究　村田　一也
夏における置屋根と土居葺屋根遮熱効果の比較考察　金田正夫／出口清孝
一般論文　ミャンマーのカヤン族とカヤー族の民家　佐藤　正彦
民俗建築アーカイブ(20)　佐藤重夫と厳島民家「写真・図面集」（その2　元・石田家、田中家、熊田家）　河村　明植
研究会報告
蔵に伝承されてきた「家」の意識―中谷家の塗蔵を中心に　森　隆男
One Shot Minka(27)　五箇山の屋根葺きの移り変わり　杉原バーバラ
View 民家(52)　ドローンを用いた民家調査の実験　堤　涼子
会員活動情報　白井正子博士と「長床」研究　日塔　和彦
紙碑　加藤厚子さんを偲んで　池田　恵子
新刊紹介
『基礎講座　建築環境工学』 朴賛弼・伏見建著　金田　正夫
『カナダにおける日本人水産移民の歴史地理学研究』 河原典史著　堤　涼子
『日本の風土と景観―東地方編―(韓国刊)』 朴賛弼著　宮崎　勝弘
文献紹介　単行本・報告書・論文　事　務　局

◆明治維新史学会だより

〒261-0014千葉市美浜区若草1-4-1　神田外国語大学　町田明広研究室

2004年創刊　www.ishinshi.jp

◇28　2021.5　B5　23p

〈2020年度第50回明治維新史学会大会報告要旨〉
近世日本の政治理念とその変容―「仁政」・「富国」理念を中心に　小関悠一郎
東アジア近代史のなかの明治維新　塩出　浩之
一九世紀史のなかの明治維新　羽賀　祥二
小特集　コロナ禍における博物館の活動
新型コロナウイルス感染拡大と横浜開港資料館　神谷　大介
コロナ下の博物館　たばこと塩の博物館　鎮目　良文

コロナ禍における渋沢史料館のリニューアルオープン　関根　仁
コロナ禍における「さいたま市大宮盆栽美術館」の取り組み　林　進一郎
例会報告要旨
幕末期薩摩藩における松方正義の動向―日田県知事に就任するまで
の経緯を中心に　小川　貴至
「府県」の定着―「国」との競合に着目して　袁　甲　幸
鎔造館の公立中学校移管と鹿島鍋島家
―明治期における教育機関と旧藩主家　高岡　萌
京都所司代としての桑名藩　本田　幸士
元治二年の二条城―幕末期の「国事」と政治　篠崎　佑太

◆洋学史通信　洋学史学会
〒182-8585調布市調布ヶ丘1-5-1　電気通信大学大学院情報理工学研究科　佐藤賢一研究室気付　℡0424-43-5592　http://yogakushi.jpn.org
◇34　2021.7　A4　20p
洋学史学会2021年度行事　2021年度年間スケジュール／洋学史学会総会・30周年記念大会・シンポジウム
2021年度　洋学史学会若手部会の活動予定(5月1日現在)
文責　堅田智子・橋本真吾・阿部大地・武正泰史
洋学史学会30周年記念事業　『洋学史研究事典』、いよいよ刊行です。
新刊紹介
岡本文一『日本近世・近代のガラス論考』　(青木)
ヤン・デ・ホント、メンノ・フィッキ著　松野明久・菅原由美訳
『一本の細い橋：美術でひもとくオランダと日本の交流史』　(野藤)
小野健志編『江戸時代輸入蘭医書要覧』　(青木)
松田清『京の学塾　山本読書室の世界』　(青木)
歴史学研究会編　中澤達哉・三枝暁子監修『コロナの時代の歴史学』
大分県先哲叢書『帆足万里　資料集第三巻』

神奈川県

◆小田原史談　小田原史談会
〒250-0021小田原市早川160　青木良一方　℡0465-22-8852
年3000円　1961年創刊　http://odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇266　2021.7　A4　32p
講演録　地域の歴史を調べよう―足柄平野の梨業調査から　講師・遠藤孝徳

鎌倉時代の小田原を巡る(1)―曾我祐信の故地　野村　朋弘
曽我物語を追っかける(2)―箱根・湯河原篇　諸星　幸雄
「高田喜久三日記」抄録―戦後小田原の世相　松島俊樹・編
「北条五代記」(4)　関東永楽銭廃る事／岡山弥五郎、木下源蔵討死の事／古今弓箭の沙汰の事　勝　四郎
片岡日記　昭和編(25)　昭和5年12月・昭和6年1月・昭和6年2月　片岡永左衛門

◆開国史研究　横須賀開国史研究会
〒238-8550横須賀市小川町11　横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内
℡046-822-8116　年1000円　2001年創刊
◇**21**　2021.3　A5　179p　800円
口絵解説　「浦賀屯田」写真について（浦賀船渠株式会社・住友重機械工業株式会社旧蔵、レンガドック活用イベント実行員会保管）　齋藤　純
『開国史研究』二十一号の発刊にあたり　山本　詔一
開国史講演会　世界史からみる日本の開国と横須賀　宮地　正人
池田頼方『道中心乃栞』を読む　増淵勝一／史料翻刻・倉沢千恵
日米和親条約の第十一条問題再考　東郷えりか
浦賀屯営について―安達書簡によせて　齋藤　純
『逸蛮彙議』の欄外注記に関する考察　今津　浩一
史料紹介　サラセン号浦賀来航の記録(2)　齋藤　純
研究会一年の活動　事　務　局

◆かまくら女性史の会 Newsletter
〒248-0012鎌倉市御成町18-10　ＮＰＯセンター鎌倉気付　メールボックス26
2013年創刊　https://kanagawajoseishi.jimdofree.com
◇**86**　2021.7　A4　2p
江刺昭子氏講演会をきいて　「明治150年、女性差別は続く―男性優位の社会通念を変えるには―《戦後編》」(2021.5.23)　高橋志津江
シリーズ：私たちの「戦争体験」(10)
「学徒勤労動員の記」第１話　清田昌弘(故人)　(石崎)
「鎌倉えんぴつの会」について　(多和田)

◆コロス　常民文化研究会
〒254-0016平塚市東八幡2-8-20　西海賢二方　年1000円　1979年創刊
◇**165**　2021.5　B5　6p
三遠信美流れの結節点―限界の山村暮らしから(13)

史料紹介　庄屋日誌に近世の山村を読む　西海　賢二

◆**市史通信**　横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1　横浜市中央図書館地下１階　℡045-251-3260

2008年創刊　https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/

◇**41**　2021.7　A4　12p

戦災・敗戦日記　羽田　博昭
ある神中生の大正時代　百瀬　敏夫
横浜の二宮金次郎像(1)　金　耿昊
閲覧資料紹介　『目にうつるものがまことに美しいから　松本得三氏追想・遺稿集』　金　耿昊

◆**首都研ネットワーク**　首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3　横浜開港資料館内

℡045-201-2169　年3000円　http://shutokenshi.org

◇**89**　2021.5　B5　4p

研究例会　第117回例会　　石坂桜「大正中期の帝国議会請願と地域社会―埼玉県秩父・入間郡界変更問題を事例として、伊藤陽平「公営競技にみる行政区域拡大の論理―1950～70年代における収益均霑化問題／次回の研究例会　第118回例会
情報ネットワーク　展示会情報！
小研究会の活動状況　首都西郊研究会、首都圏災害史研究会、マイクロヒストリー研究会、戦後首都圏検討会

◆**日本地名研究所通信**

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10　川崎市生活文化会館４階

℡044-812-1106　1993年創刊　http://chimei.people.co.jp

◇**99**　2021.7　B5　8p

如是我聞(このように私は聞いた)
　―谷川地名学を受け継ぎ、伝えるべきこと　金田　久璋
第四〇回全国地名研究者大会の準備から実施までのこと
　―シンポジウム趣旨説明と大会報告を兼ねて　小田　富英
次回開催地からのメッセージ　西澤　弘純
第四〇回全国地名研究者大会に参加して　澤井　真代
谷川健一先生から教わったこと　鈴木　暁生

◆**扣之帳**　扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60　青木良一方　℡0465-22-8852　年2500円

2003年創刊　http://hikaenochou.world.coocan.jp/mysite1

◇**72**　2021.6　A5　176p　500円

松田の武士　松田氏を知るには(1)　遠藤　孝徳

小田原・文学の小箱(2)

私のコレクションから　章子との離婚―白秋の生田葵宛て書簡　杉山　博久

小説―幕末銀板史屋新倶楽部　ボトゲラヒ(5)　荒河　純

酒匂だより　「虫と草取り」　町田紀美子

日光神領仕法開業までの金次郎の歩み　尾上　武

続々・ボクの映画館(1)

アメリカン・ニューシネマの傑作『明日に向かって撃て』　平倉　正

漁書事始(捜私漂白)―産土小宇宙・往時の回想　小濠　眞宝

諸々の思い出(2)　田中　豊

関東十八檀林記(14)　太田大光院　青木　良一

一升石(2)　芳賀喜久雄

失われた日本人(7)　元政上人(下)　茂木　光春

◆**三浦一族研究**　三浦一族研究会

〒238-8550横須賀市小川町11　横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内

℡046-822-9478　年1000円　1997年創刊

http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0130/culture_info/miura_ichizoku/

◇**25**　2021.3　A5　266p　800円

口絵資料紹介・解説　「西岡虎之助関連資料」

ごあいさつ　伊藤　一美

講演会　室町時代の三浦一門　山田　邦明

佐原義連と「扇の下文」　伊藤　一美

美作国高田城主・三浦横須賀氏二三〇余年の動向　鈴木かほる

中世伊勢国三浦大多和氏の系譜についての考察　安部川智浩

西岡虎之助著『豪族三浦氏の発展』の刊行経緯とその意義について　高橋　秀樹

豪族三浦氏の発展(上)　西岡虎之助・著／高橋秀樹・校訂

令和元年度応用講座　史料で読む三浦一族　第１回　三浦氏の登場と衣笠城合戦／第２回　初期鎌倉幕府における三浦一族／第３回　三浦義村の時代／第４回　宝治合戦と三浦本宗家の滅亡／第５回　鎌倉後期の三浦一族　真鍋　淳哉

令和２年度応用講座　史料で読む三浦一族(北条義時と三浦一族)

第１回　和田合戦と三浦氏／第２回　源氏将軍の断絶と三浦氏／第３回　承久の乱と三浦氏／第４回　伊賀氏事件と三浦氏　真鍋　淳哉
史跡めぐり　三浦一族の歴史と文化を訪ねて　令和元年度　第３回中止／令和２年度　第１回「難攻不落の城小田原城へ迫る」講師：諏訪間潤氏、第２回「和田合戦の舞台を歩く」講師：伊藤一美氏　剣持輝久・編
吾妻鏡を読む会　激動の鎌倉の日々をリアルに体験！　伯山　敦仁
幹事のオススメ本・情報紹介コーナー
湯浅治久著『中世の富と権力』　伊藤　一美
田中弘孝著『北条泰家』　森　敏晴
山本幸司著『頼朝の天下草創』を読んで　岩間満美子
三浦一族関係文献目録(25)　中里行雄・編
三浦一族関係の論文、文献、書籍の情報をお知らせください／三浦一族「御城印」「御城印帳」紹介
研究会一年の活動　事　務　局

◆民具マンスリー　神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1　℡045-481-5661　年3500円
1968年創刊
◇**639**（54-3）2021.6　A5　24p　350円
二つの中世陵王面―鎌倉鶴岡八幡宮と六浦瀬戸神社　渡邊　浩貴
民具動態保存論　狭川　真一
民具短信　山形県西置賜郡白鷹町の「半唐箕」　守谷　英一
マンスリー掲示板　夏の企画展「あはひのクニ　あやかしのクニ―ふくしま・東北の妖怪・幽霊・怪異―」
◇**640**（54-4）2021.7　A5　24p　350円
座談会　日常へのまなざし―トイレを語る　『民具マンスリー』編集室　佐野賢治／角南聡一郎／樫村賢二／神かほり／浜野達也／加藤友子
民具短信　忘れ去られた民間信仰の再発見　松下　朋生
マンスリー掲示板　福島県立博物館　秋の企画展「ふくしま　藁の文化―わらって、すげぇんだがら―」

◆歴研よこはま　横浜歴史研究会
〒232-0022横浜市南区高根町2-8-12-1001　木村髙久方　1984年創刊
http://www.yokoreki.com
◇**82**　2021.5　B5　86p

巻頭言　木村　高久
令和三年度定期総会開催　高尾　　隆
女帝北条政子の実像と義時の陰謀を検証する　加藤　導男
ノーベル賞を逃した科学者　高峰譲吉　長谷川憲司
つらかった貫之さん
　―大歌人の没落人生と『土佐日記』に隠された真実　小林　道子
大伯皇女―二上山に偲ぶ(1)（移葬）　遠田千代吉
司馬から忌むべき存在と名指しされた男゜　槙　　良生
歴シル鎌倉室町400「７５」「８２」　高尾　　隆
『もうひとつの古代史』逸文(2)「孝霊天皇＝倭国大乱」論　忌部　　守
藤原魚名系波多野家のおいたち　石原　裕之
蒙古襲来！―誰が日本を救ったのか？　真野　信治
足踏み脱穀機の時代　近藤　政次
則天武后―中国唯一の女性皇帝　高野　賢彦
古典期アテナイの自由と平等　雨宮美千代
信念と行動の旅人　笹森儀助　木村　高久
特別寄稿　牛と古代びと　松尾　　光
抜刀隊　市川　康夫
古歌を訪ねて(12)　津の国の難波の春　丹下　重明
運命の邂逅―私と落語との出合い　寺田隆郎(鹿鳴家河童)
『中国工芸美術史入門』―日本所持品と所蔵館　長田　　格
宇宙の正体　それは何か　高野　賢彦
新型コロナと現代　瀬谷俊二郎
それは危のうございります！　真野　信治
はじめにコトバありきか―色葉匂へど(5)　ゲンさんの歴史幻想　宮下　　元
追悼の辞
　歴史研究会　主幹　吉成勇様　加藤　導男
　前副会長　三觜行雄さんを偲ぶ　熊本　修一
表紙の写真「金沢北条氏の菩提寺　称名寺」撮影・文：齋藤宗久さん
歴史人の足跡を辿る旅40年!!　歴史散策は研究会の必須アイテム　実
　地見聞に勝る学習はない

新　潟　県

◆高志路　新潟県民俗学会
〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101　金田文男方　℡025-241-9402

1935年創刊　https://fsnp.mints.ne.jp

◇420　2021.5　A5　50p

屋号からムラの古層をみる　松本三喜夫
家屋・住まいの民俗(中編)―茶の間からトイレの神まで　佐藤　和彦
報告　田の神について　金田　文男
表紙写真　菖蒲の虫きり　駒形　毅
小報告　木の道祖神　金田　文男
令和三年　春の談話会　報告　坂井　美香
令和三年　春の談話会　記録　鈴木　秋彦

表紙写真

菖蒲の虫きり　十日町市安養寺　撮影：駒形毅　昭和34年6月5日

◆長岡郷土史　長岡郷土史研究会

〒940-0065長岡市坂之上町3-1-20　長岡市立中央図書館文書資料室内

℡0258-36-7832　年3500円　1960年創刊

◇58　2021.5　B5　229p

口絵　郷土の歴史資料紹介(7)　河井継之助書（反町茂雄文庫・長岡市立中央図書館所蔵）／長岡郷土史研究会の活動―令和二年度
馬高遺跡と長岡の土偶　越後長岡・火焔土器の話(7)　小熊　博史
公武合体の際の立役者妙徳院の実在に関する検証―将軍徳川秀忠の側室に関する疑義　石田　哲彌
良寛と天華上人　本間　明
河井継之助の経済学(下)　土田　和弘
富島と文献に見る戊辰北越戦争の記事　山岸　利光
戊辰北越戦争で東西両軍を賄った魚沼川西の村々　小片　荘平
小林虎三郎の『雙松西游記』をひもとく　小熊よしみ
軍器発明家・白峰駿馬　廣瀬　剛
曹洞宗近代化に尽力した滝谷琢宗　高橋　実
梅浦精一の足跡と長岡地域との関わり　松本　和明
渡辺藤吉の事績　内山　弘
史料紹介『長岡工業史料』より　渡邊祐吉談「名物煙火の話」(下)　長谷川健一
鉞子　旅立ちの頃　青柳　保子
桐谷洗鱗画業研究　志ざすところ(中)　深見　寶夫
戊辰戦争から百五十年(6)　太田　修
山本元帥の叔父　小泉　秀也
「河井継之助の碑」について(1)　樺澤　幸子

「星野嘉保子の碑」とその周辺　新田　康則
山古志の通学路と隧道(トンネル)　目黒　公司
関原専売局の移り変わり(2)　林　昇
「ながおか学」補説(4)―「平和像」を調べる　米山　忠彦
中越大震災と長岡斎場　長谷川浩一
小復刻　『長岡郷土史』編集後記(抄録)　内山　喜助
講演会記録　旧三島郡の北越戊辰戦争　羽鳥　仁一
地域探訪報告　蔵王堂城址・安禅寺と長岡郷土史研究会　菅原　茂生
開催報告　令和２年度　古文書解読講座　田中　洋史
資料紹介　令和２年度の長岡市委託事業から
林朋子／樺澤幸子／西和美／岡田佐輝子
事業報告　「念三尸滅」碑の説明板建て替え工事　菅原　茂生
長岡郷土史研究会　令和二年年度会務報告

◆ふるまち良寛てまり庵通信

〒951-8063新潟市中央区古町通2-538　℡025-378-2202
http://www.kokodo.co.jp/ryokankai/temarian/

◇**30**　2021.7　A4　6p

表紙　良寛百態　「盆踊り」高橋郁丸作
風は清し月はさやけしいざともに踊り明かさむ老のなごりに

付録　良寛遺墨シート　七言詩　偶陪児童百草闘「偶陪児童百草闘
々去闘　来轉風流　日暮城頭人　歸後　一輪明月凌素秋」良寛書
解説・小島正芳

言霊　似我非為是　異我是為非（良寛「草堂詩集」天巻より）
一期一会　ワクチン騒動　良寛愛語会

◆まきの木　巻郷土資料館友の会

〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1　℡025-672-6757　年1500円　1978年創刊

◇**114**　2021.5　B5　8p

史料紹介　家訓―関東大震災からの教訓を伝えた越後の商人　亀井　功

◆良寛だより　全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2　北方文化博物館新潟分館内
℡025-222-2262　1978年創刊

◇**173**　2021.7　A4　20p

「玉島の修行時代」（小林古径・画）　こばやし・こけい（明治16年～

昭和32年）（出雲崎町　良寛記念館所蔵）
リレーエッセイ　良寛つれづれ(22)
今が旬　良寛さまの心思いに魅せられて　後藤田恵子
良寛遺墨鑑賞（21）和歌　あまびとの　小島　正芳
「各地良寛会だより」(14)　富山良寛会の巻　設立／良寛さまのう
た／良寛巡礼の旅／学習会／今後の活動　田中　常弘
初のオンライン大会として第43回全国良寛会玉島大会開かれる
全国良寛会玉島大会を振り返って　コロナ禍の苦難の中　最善の努力
で感動を呼ぶ　森石　武士
本年度の総会議事は書面決済とします　全国良寛会事務局
来年の大会は出雲崎町で　良寛堂建立百年で九月中旬に
二年ぶりに役員会開催される―令和三年四月二十五日　本間明・記
「良寛」への旅の始まり(上)　坂本　文江
良寛を今に伝えた人びと(3)　貞心尼　本間　明
忘れ得ぬ人びと(4)　上田三四二先生の良寛歌宇宙論　加藤　僖一
相馬御風の良寛(22)「署名」の違いについて　金子善八郎
良寛　自省の詩歌　素描　吉田　福恵
「良寛椿の会」のＨＰを開設しました　多様な情報を提供　福留　正治
涙の除幕式　円通寺に良寛の石碑二基　器楽堂ゆう子
良寛こころの歌(下)　吉井　和子
トピックス　陶器と良寛書の館が閉館
新刊紹介　『ディランと良寛―表現するヒト』小林忍著　柳本雄司・記
会報・会誌紹介　上州良寛第53号(上州良寛会)、富山良寛会会報第32
号、鉢の子たより第34号(東京良寛会)、良寛第108号(分水良寛会)　吉井　清一
良寛を訪ねて(22)　居心地よかった本覚院　吉井　清一

富　山　県

◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116高岡市伏木一宮1-11-11　高岡市民文化振興事業団

℡0766-44-5511　1991年創刊　http://www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/

◇31　2021.3　A5　105p　1000円

《開館三十周年記念号》
『日本書紀』を読むために　神野志隆光
古事記・日本書紀における天照大(御)神と天孫(皇孫)降臨について　毛利　正守
『萬葉集』に見える「鳥」素描―家持のこだわり・少考　新谷　秀夫

辛荷島作歌考　鈴木　崇大
吉田包春作・正倉院模造宝物「子日目利箒」「粉地彩絵倚几」（高岡市万葉歴史館蔵）と大伴家持の玉箒の万葉歌について(1)　田中夏陽子
よめなくなった万葉歌　関　隆司

石 川 県

◆加能民俗　加能民俗の会
〒920-0963金沢市出羽町3-1　石川県立歴史博物館内　℡076-262-3236
年4000円　1950年創刊
◇**164**（12-22）2021.3　A5　12p
特集「加能民俗の会々員が選ぶ民俗文化財」
会員が選ぶ民俗文化財の事例
一　田のお歳暮まわり　白山市竹松町の行事　真山　武志
二　紙貰い　白山市竹松町の行事　真山　武志
三　石運び　白山市上安田町の行事　真山　武志
四　スゲ馬　白山市瀬波地区の行事　真山　武志
五　百海(どうみ)棚田と大敷網、そして海上アルプス　塚林　康治
六　二つの集落が合同で隔年交代に行う秋祭り「出合様」　小林　忠雄
金沢の老舗呉服商「有松屋」聞書　大門　哲
新刊紹介　西山郷史著『とも同行の真宗文化』臥龍文庫　本林　靖久

◆加能民俗研究　加能民俗の会
〒920-0963金沢市出羽町3-1　石川県立歴史博物館内　℡076-262-3236
年4000円　1972年創刊
◇**52**　2021.3　A5　57p
明治・大正期における鵜祭の諸相―気多神社日誌・通信記録から　干場　辰夫
戦前における大間知篤三と石川県　由谷　裕哉
金沢の北廓(後編)―再開業から衰滅へ　大門　哲

長 野 県

◆飯田市歴研ニュース　飯田市歴史研究所
〒395-0803飯田市鼎下山538　℡0265-53-4670
http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html
◇**112**　2021.6　A4　4p

第18回飯田市地域史研究集会「暮らしのなかの景観―その歴史と継承」
　2021年9月11日（土）　第１部「景観の歴史と文化―国際比較の視点から」・12日（日）　第２部「魅力ある景観をのこす・つたえる」　陣内秀信・大田省一・吉田ゆり子
飯田市歴史研究所2021年度研究計画
歴研のお仕事　現状記録調査　羽田　真也
地域史ゼミの紹介とゼミ生募集　太田　仙一

◆伊 那　伊那史学会
　〒395-0081飯田市宮ノ上4048　℡0265-22-6017　年5500円
◇1117（69-6）2021.6　A5　50p　550円
《考古学特集号》
口絵　阿南町指定文化財『上栗の塚』の修繕　佐々木達也／市澤英利
欽明・敏達朝の科野国造　桐原　健
神村透先生が自ら綴った考古学人生―心底にある故郷は下伊那　市澤　英利
飯田市久保尻遺跡の古墳時代大型竪穴建物とその性格について　春日　宇光
飯田古墳群の基本データ(1)　渋谷恵美子／小林正春
令和２年考古学関連年報　小林　正春
◇1118（69-7）2021.7　A5　50p　550円
口絵　僧形坐像(飯田市・光明寺蔵)　破損仏の正体を探る　織田　顕行
田中義一の来飯と天龍舟下り　鎌倉　貞男
深見諏訪・津島神社例大祭(夏祭り)　深見の祇園祭り　松澤　英男
昭和初期の学校教育に見る「神国思想」
　―私達の参加した行事と見聞を通して　大原千和喜
曾我蕭白を世に出した桃澤如水　桃澤　匡行
飯田古墳群の基本データ(2)　渋谷恵美子／小林正春

◆伊那路　上伊那郷土研究会
　〒399-4501伊那市西箕輪3180　山口通之方　℡0265-73-5538　年6000円
◇773（65-6）2021.6　A5　40p　600円
《「自然との共生農業」特集》
小鮒が泳ぐ水田で「こぶな共生米」を作る　小林　幸平
子どもたちへの伝言―新規就農33年目の話　小川　文昭
畑の虫・庭の虫―小さな畑と庭で出会う害虫たち　小川　清美
変わりゆく農村の自然　米山　富和
実戦‼　半農半Ｘ(2)　上杉　勝英

文部科学大臣賞受賞を祝して　池田美以子／村松直美
文化短信　区誌『笠原の生活と歴史』の刊行を終えて　畑　辰男
伊那谷のカワウ―民俗の窓を通して(41)　吉田　保晴
図説・上伊那の民俗(48)　境地蔵(中川村桑原)　三石　稔
徒然さんぽ(23)　日蓮宗本学山　弘妙寺　伊那市高遠町　絵と文・吉田勝美
◇774（65-7）2021.7　A5　40p　600円
《石造物特集》
駒ヶ根市中沢の十王像巡り　宮下　明子
貞治の祖父　守屋貞七の石仏―砂岩に彫像した元文年間の作　田中　清文
守屋貞治『石佛菩薩細工』　飯島　隆人
拾われた赤いピアノと自然との共演　平澤真希／山口通之
図説・上伊那の民俗(49)　道祖神（辰野町上辰野堀上荒井）　三石　稔
徒然さんぽ(24)　高遠しんわの丘ローズガーデン　伊那市　絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗　柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034飯田市追手町2-655　飯田市美術博物館内　℡0265-22-8118
年3000円　1990年創刊　http://inaminkenhome/blogspot.jp
◇125　2021.6　B5　8p
表紙　堤防を乗り越えた水／三六災害の洪水により決壊寸前の惣兵衛堤防(高森町歴史民俗資料館所蔵)
松上　清志
主婦が書き残した年中行事―飯田市鼎名古熊　小林家覚書から　今井　啓
書評　『写真から見る伊那谷の近代と地域民俗』(伊那民研叢書6)　須藤　功
私と『三遠南信』との『出会い』　山口　和晃
報告　2021年度総会、3・4月例会　今井　啓
表紙写真解説　高森町に残された三六災害写真が伝えるもの　松上　清志

◆信 濃　信濃史学会
〒399-0036松本市村井町南1-28-35　年10200円　℡0263-58-1213
http://www.shinano-shigakukai.jp
◇857（73-6）2021.6　A5　80p　1150円
長野市南宮遺跡と東福寺地区―発掘調査成果と地域研究　川崎　保
奈良・平安初期の山林修行と戒行奨励政策(下)　鈴木　実
「桶狭間の合戦」における今川義元の戦略　武田　健作
書評　塚本学著『生きることの近世史』を再び読み直す　郷道　哲章
報　告
第105回セミナー「古文書を守る」 研究報告　市川包雄氏「小諸市

古文書調査室の取り組み」、講演　西村慎太郎氏「「ウィズ・コロナ」社会の地域歴史資料保全」　山中さゆり
令和３年１月民俗例会「上田市八日堂の蘇民将来符頒布習俗」の講演と見学会　多田井幸視
令和３年１月民俗例会　信濃国分寺八日堂の講座・展示見学参加記　市東　真一

◇858（73-7）2021.7　A5　98p　1150円
《隣県特集号　隣県地方史学界の動向―令和２年(2020年)》
富山県地方史研究の動向　鹿島昌也／松山充宏／尾島志保／森俊
山梨県地方史研究の動向　上野桜／西川広平／髙橋修
新潟県地方史研究の動向　石原正敏／浅井勝利／田嶋悠佑／渡部浩二／荒川将
群馬県地方史研究の動向　丑木　幸男
愛知県地方史研究の動向　浅岡優／神谷智／石田泰弘／高橋賢／山下廉太郎
岐阜県地方史研究の動向　村瀬泰啓／堀祥岳
埼玉県地方史研究の動向　堀口智彦／根ヶ山泰史／榎本博
長野県地方史研究の動向　櫻井秀雄／福島正樹／市川包雄／田玉徳明／田澤直人

◆千 曲 ふるさとに学ぶ　東信史学会
〒386-0024上田市大手2-7-13　上小教育会館内　℡0268-24-2182
年3000円　1974年創刊
◇175　2021.6　A5　71p
追悼　小池雅夫先生
慈父のような大研究者　小池雅夫先生のご永眠　哀し　櫻井　松夫
小池雅夫先生　追悼　尾崎　行也
小池雅夫先生を偲ぶ　佐々木清司
古文書にみる江戸時代　上田藩中間の採用と欠落　塩澤　展子
文政一三年「道中諸色控」より―正月ヲミワ拝借返金　栗村　道子
池普請の専門技術伝承と伝播―近世灌漑技術における試論　田中　浩江
郷土史随想　護持院原の敵討と小松典膳―伝聞・伝承と史話　児玉　卓文
地区だより(上田地区)「城南史料研究会」の活動　宮島かつ子
連載講座　古文書解読講座　第166回　斎藤　洋一
令和三年度東信史学会総会報告
扉写真と解説　日本最大「北沢の大石棒」

◆長野県民俗の会通信
〒384-2104佐久市甲135　田澤直人方　℡0267-88-6927　年5000円

http://nagano-minzoku.chu.jp
◇284　2021.7　B5　12p
コロナ禍のコトヨウカ　市東　真一
第224回例会に参加して
　～棚田の植物観察会と豊科郷土博物館企画展見学記　臼井ひろみ
第225回例会「つけば漁見学」に参加して　浦山　佳恵
第225回例会参加記―講演会を拝聴して　樋口　明里
修験系寺院の版木　下平　　武
葉書でつぶやくコーナー　門柱―安曇野に来て見て驚いた(2)　倉石　忠彦

岐　阜　県

◆岐阜市歴史博物館だより
岐阜市歴史博物館　〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1　岐阜公園内　℡058-265-0010／加藤栄三・東一記念美術館　〒500-8003岐阜市大宮町1-46　℡058-264-6410　1985年創刊
◇108　2021.6　A4　8p
表紙　唐織　菊叢文様　黒紅地　江戸時代　浅井能楽資料館　佐藤芳彦記念　山口能装束研究所所蔵
特別展「近世能装束の世界　用の美―武家貴族の美意識」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一　鵜飼を描く」
博物館ニュース「歴博セレクション　濃尾震災130年―被災の記録とその伝承」を開催しました
令和２年度受贈資料／加藤栄三・東一記念美術館の展示、特集展示（２階　総合展示室）、分室　原三溪記念室の展示
研究ノート　鮎鮨献上廃止以後の鵜飼保護政策(前編)　佐藤　友理

静　岡　県

◆静岡県近代史研究会会報
〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1　静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室　年4000円　https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com
◇513　2021.6　A4　6p
６月例会レジュメ　治河協力社再考―金原明善とともに天竜川治水に挑んだ人びとの歴史的位置づけをめぐって　伴野　文亮
静岡藩と明治２年の旧百官名・国名使用禁止　樋口　雄彦

文献紹介　『岩崎革也宛書簡集』Ⅰ～Ⅳ（南丹市立文化博物館）　小池　純之
新刊紹介　熊本近代史研究会『近代における熊本の人物群像』　（加藤）
◇514　2021.7　A4　6p
7月例会レジュメⅠ
　『希望を拓く―静岡県民の社会運動史』編纂に携わって　小池　善之
7月例会レジュメⅡ　静岡県における護憲運動の歩み
　―社会党静岡県連（県本部）を中心に　橋本　誠一
新刊紹介　高柳友彦氏『温泉の経済史　近代日本の資源管理と地域経
　済』　村瀬　隆彦
「流行性感冒」の襲来―資料紹介(1)　小池　善之

◆静岡県地域史研究　静岡県地域史研究会
　〒412-0043御殿場市新橋1891-1　厚地淳司気付　年4000円　2011年創刊
◇237　2021.7　B5　4p
『静岡県史』別編4　人口史の紹介再び　森田　香司
例会報告要旨　大石泰史著『城の政治戦略』書評会
　「第一章　城の『報告書』とは何か」「第二章　経済的拠点から始ま
　　った政治の館―駿河府中の今川館」について　望月　保宏
　「第三章　興国寺城」　Ⅰ興国寺城は同盟締結の「場」？、Ⅱ善得寺
　　城の存在は疑わしい？　土屋比都司
　「第四章　高天神城」　森田　香司
　「第五章　吉田城」　小林輝久彦

◆静岡歴研会報　静岡県歴史研究会
　〒422-8045静岡市駿河区西島363-55　篠原旭方　℡054-286-8659
◇160　2021.6　B5　12p
4月25日(日)　令和3年度総会
5月30日(日)　第130回研究会　中村典夫氏の「【十辺舎一九の手紙】
　について」の概要／赤池隆義氏の「【家康駿府時代の二人の豪商】
　について」の概要／篠原旭氏の「ビッグ・ヒストリー」の概要

愛　知　県

◆あつた　熱田神宮宮庁
　〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1　℡052-671-4151
　http://www.atsutajingu.or.jp

◇270　2021.6　A5　55p
御大典奉祝記念事業「くさなぎ広場」・「剣の宝庫　草薙館」
「剣の宝庫　草薙館」の開館に向けて(3)　福井　款彦
熱田神宮の二十五丁橋について　野村　辰美
奉納和歌にみる熱田信仰(八)　辻村　全弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧(27)　小久保雅広

◆岩瀬文庫だより　西尾市岩瀬文庫
〒445-084西尾市亀沢町480　℡0563-56-2459　2004年創刊
https://iwasebunko.jp
◇68　2021.3　A4　4p
岩瀬文庫企画展「悪疫退散」／次回企画展予告「塩」
新刊のご紹介　『西尾城絵図集』／新編西尾市史研究　第7号
蔵書紹介　『文明開化　広告篇』(166-50)　版本１冊　宮武外骨編
大正14(1925)年刊
国史跡　正法寺古墳の「御墳印」ができました／国宝　金蓮寺弥陀堂
春の特別公開

◆年報 中世史研究　中世史研究会
〒464-8601名古屋市千種区不老町　名古屋大学文学部日本史学研究室気付
℡052-789-2228
◇46　2021.5　A5　154p　2000円
平安～鎌倉初期黒田庄荘官考　永野　弘明
大内氏の菩提寺と東アジア―南北朝・室町期　伊藤　幸司
室町殿鎮守社の成立と展開―足利将軍家の神祇祭祀と吉田家　桐田　貴史
中世後期における東寺財政の構造変化―東寺浮足方を事例として　青木　貴史
天文十七年の細川邸御成と江口合戦　馬部　隆弘
書評　谷口雄太『中世足利氏の血統と権威』　小久保嘉紀

◆蓬 左　名古屋市蓬左文庫
〒461-0023名古屋市東区徳川町1001　℡052-935-2173　1980年創刊
http://housa.city.nagoya.jp
◇101　2021.6　A4　8p
表紙　二条御城絵図
理知的な悪夢の紡ぎ手、小酒井不木　小松史生子
展示室１・２　企画展　あかがね／くろがね

展示室１・２　徳川美術館本館　夏季企画展　家康から義直へ
尾張の筆まめの日記伝（第一回）　鸚鵡籠中記と千代倉日記（前）　井上　善博
表紙　二条御城絵図　１枚　寛永元年（1624）　110.cm×104.5cm　今和　泉大

◆**まつり通信**　まつり同好会
〒458-0006名古屋市緑区細口3-161　田中青樹方　℡052-877-3497　年5000円
1961年創刊　http://www.wa.commufa.jp/matsuri/
◇**613**（61-3）2021.5　B５　8p　600円
表紙写真のことば　相模国府祭り（コウノマチ）鷺の舞
神奈川県大磯町国府本郷　5月5日　坂本　要
「民間念仏信仰の研究」の構想(3)　4. 双盤念仏（自著第四章）　坂本　要
越後の白山神社に遺る“樂歌”の注目すべき殘影（稿１）／愛媛縣の史
前遺石について（稿２）／散吟打毬樂福源の回想（稿３）　水原　渭江
新刊紹介『茶碗・茶飯・奈良茶碗　全国に伝播した「奈良茶」の秘密』
鹿谷勲著　（M・K）

滋　賀　県

◆**湖国と文化**　びわ湖芸術文化財団
〒520-0806大津市打出浜15-1　℡077-523-7146　年2520円　1977年創刊
http://www.biwako-arts.or.jp
◇**176**（45-3）2021.7　B５　88p　600円
表紙　魚治（高島市海津）のふなずし本漬け　撮影・オザキマサキ
《特集　未来を醸す～湖国の食文化》
プロローグ
ここから未来を醸そう　小泉　武夫
古文書が語る「食」　高正　晴子
滋賀の郷土料理30～いつく知っていますか　編　集　室
湖・里・山と四季の恵み　多様で豊か滋賀の食文化　堀越　昌子
土地の恵み、無駄なく　昭和30年代の「食」８地域調査　長い冬に備え　豊かな保存食（湖北）／少ない水田　主食は糧飯（奥永源寺）／西の湖の漁と舟で通うヨシ田（安土下豊浦）／米も野菜も湖魚も豊か　温暖な平野（野洲）／粘土質の土壌が育む　良質米と伝統野菜（甲賀）／若狭・京からの道の幸　里の幸・山の幸（大津市伊香立）／残していきたい　湖魚料理、野の幸（志賀）／針畑越えの山里　自慢は鯖ずとの味（朽木針畑）　中村　紀子

「滋賀の食事文化研究会」の30年　学び合って、知恵を未来へ　三宅　貴江
ハレの馳走・ケの始末　めりはりが磨いた技と味　小島　朝子
米と芋、二つの祈り　豊穣への切実度、神饌に　長谷川嘉和
滋賀の食文化財　湖魚のなれずし／湖魚の佃煮／日野菜漬け／丁稚羊羹／あめのいおご飯　編　集　室
私も醸す地域と未来　「知りたい」をつなぎ、日常に残す　Tsunagu 長浜市／「思いも全部継ぐ」女性たちスクラム　すくらむ(住暮楽)
木之本／「食」でまちづくり。記録と記憶残す　YOBISHI　多賀町／「つくる」(農業)と「食べる」つなぐ　ワニカフェ(高島市)　三宅　貴江
古文書にみる「食」
『蕨の製方』『年中惣菜盡』『大倹約めしのたきやう』　高正　晴子
カラーグラビア
琵琶湖　センスオブワンダー　湖と人とが織りなす歴史と今(2)
琵琶湖であるために必要なこと　文・里口保文／写真・オザキマサキ
祭の美　祈りのかたち(10)
野神祭りの土盛り(蒲生郡日野町奥之池)　写真・文　川島朱実
インタビュー　湖と生きる　水俣から琵琶湖、世界へ。命と知恵巡る
菜の花プロジェクトネットワーク代表　藤井絢子さん　聞き手・三宅貴江／写真・中村憲一
近江の黎明　相谷熊原遺跡から探る縄文の世界(2)
年代、決め手は長脚鏃と有溝砥石　松室　孝樹
森が来た道(8)　地球を守る「三つの約束」と森林・林業　水田有夏志
ぶらり近江はっけん伝(17)　湖北の奥座敷・西浅井町　岸野　洋
音楽への誘い(15)　びわ湖ホールの楽しみ方いろいろ　西前　悠
万葉の旅人(9)　近江のや八橋の篠を矢はがずて　まことあり得むや
恋しきものを(巻七―1350　作者不明)　文と曲・林博通／画・鈴木靖将
石積みが守る集落と歴史　湖・道・海、海津の厚みを歩く　森　隆男
近江の懐(17)　朝宮
仙禅寺跡磨崖仏(加藤賢治)／朝宮の自転車(石川亮)　加藤賢治／石川亮
トムさんの日野暮らし(4)　「地方創生」の罠　トム・ヴィンセント
歴史の玉手箱(20)　西川重威と八幡銀行　杉原　悠三
北から南から
コロナ禍で今年も祭り縮小。保存会結成へ　野口将太郎
農業がつなぐ新旧住民の３世代交流　大塚佐緒里
湖と空が溶け合う風景、「白湖」に込めて。　長澤由香里
大津運河で夕涼み　小松谷千絵

◆戦国史と人 女風林火山　戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究会
〒520-0528大津市和迩高城289-11　首藤義之方　年1400円　1987年創刊
◇67　2021.7　B5　78p
《特集　続・佐々木六角氏と信長・秀吉・家康(上)》
「三権推任」問題の再検討
—推任されていたのは織田信忠だったのではないか　首藤　義之
明智光秀の前半生と佐々木六角義秀(3)
—細川藤孝、織田信長の家臣時代（足利義昭の上洛まで）　首藤　義之
天海(徳川家康の側近僧侶)の正体は佐々木箕作義治説(後編)　首藤　義之
裏表紙　日牟礼八幡宮(滋賀県近江八幡市)の左義長祭(2018年・戊年)

◆彦根城博物館だより
〒522-0061彦根市金亀町1-1　℡0749-22-6100　1988年創刊
http://www.hikone-castle-museum.jp
◇133　2021.6　A4　4p
企画展　中川禄郎—井伊直弼を支えた儒学者
廻帖　当館蔵
展示案内　2021年6月～2021年9月　テーマ展　“写し”—日本美術を読み解くキーワード、企画展　中川禄郎—井伊直弼を支えた儒学者、テーマ展　茶道具の“い・ろ・は”、企画展　奇才の絵師　張月樵—彦根～京～名古屋への道／常設展示　“ほんもの”との出会い—彦根藩井伊家伝来の大名道具を中心に80点あまりを展示
研究余録　金亀玉鶴
彦根招魂社の創建—井伊家伝来古文書(近代文書)調査から　渡辺　恒一

京　都　府

◆芸能史研究　芸能史研究会
〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303　℡075-251-2371　年6000円　1963年創刊　http://www5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/
◇233　2021.4　B5　52p　1800円
「道の曲舞」から「声聞師の神々へ」　山路　興造
資料紹介　壬生寺本尊出開帳・大念仏会執行関係資料(寛政元年)　八木　智生
芸能史の書棚　令和二年度国立能楽堂特別展『勧進能』
監修：宮本圭造　長田あかね
紹　介

五島邦治監修『近世の即位礼―東山天皇即位式模型でみる京職人の技術』　吉村　旭輝
山路興造「巫女の諸形態―賤視される巫女・されない巫女」　（水木）
春日大社国宝殿『生誕二〇〇年　近代奈良に生きた天才　森川杜園の魅力』　（H・N）
第59回　総会資料
例会発表要旨　壬生狂言の大坂出開帳　2021年1月例会　八木　智生

◆**史迹と美術**　史迹美術同攷会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146　中西ビル内
℡075-462-4292　年8000円　1930年創刊　https://www.shibikai1930.com
◇**914**（91-4）2021.5　A5　32p　918円
口絵　宇治興聖寺の庭園空間と管理指図に関する研究(1)
―『興聖寺作本幷掃除覚帳』の分析から
宇治興聖寺の庭園空間と管理指図に関する研究(1)
―『興聖寺作本幷掃除覚帳』の分析から　尾﨑　洋之
「鴨川つけかえ説」再び(下)―横川卓雄「鴨川非つけかえ説」の不審　加藤　繁生
九州の石塔調査報告　1. 植木観音堂梵字阿弥陀三尊自然石塔婆　佐藤　誠
◇**915**（91-5）2021.6　A5　30p　918円
口絵　宇治興聖寺の庭園空間と管理指図に関する研究(二)―『興聖寺作木幷掃除覚帳』の分析から／九州の石塔調査報告　2. 鎮国寺薄肉彫阿弥陀如来坐像自然石塔婆
宇治興聖寺の庭園空間と管理指図に関する研究(2)
―『興聖寺作木幷掃除覚帳』の分析から　尾﨑　洋之
京都府の笏谷石石塔　篠原　良吉
九州の石塔調査報告　2. 鎮国寺薄肉彫阿弥陀如来坐像自然石塔婆　佐藤　誠
第1079回例会　下鴨神社と京都御苑の庭園　11月8日　矢ヶ崎善太郎
第52回「石造美術勉強会」報告　奈良県五條市榮山寺と市内の石造美術　監事：品角阿止美氏・清水周子氏　田中　康夫

◆**洛北史学**　洛北史学会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5　京都府立大学文学部歴史学科内
℡075-703-5259　1999年創刊
◇**23**　2021.6　B5　133p
ディオドロス・シクロス『歴史叢書』におけるペルシア戦争
―ヒメラの戦いに注目して　酒嶋　恭平

真言宗の門流分化と後七日御修法　泰地　翔大
近代の行幸啓における「万歳」唱和の実際
　―明治後期から昭和前期まで　松村　啓一
南北戦争後のクー・クラックス・クラン活動とユニオン・リーグ―テ
　ネシー州の証言録を中心に　浜本　隆三
書　評
　藤本仁文著『将軍権力と近世国家』　松尾美恵子
　岡本隆司著『君主号の世界史』　櫻田　智恵
　車田忠継著『昭和戦前期の選挙システム―千葉県第一区と川島正次
　　郎』　杉谷　直哉
　渡辺信一郎著『シリーズ　中国の歴史①　中華の成立　唐代まで』岸本　美緒
　向井佑介著『中国初期仏塔の研究』　古閑　正浩
新刊紹介
　重信幸彦著『みんなで戦争　銃後美談と々員のフォークロア』　芝野　有純
　今村直樹著『近世の地域行財政と明治維新』　平賀舜太郎
大会・例会報告要旨　第22回洛北史学会大会
　大会テーマ「社会における「異質」の信仰・思想」
　報告　異端を見る眼：中世ビザンツ帝国の異端学　草生　久嗣
　報告　再建期のクー・クラックス・クランとユニオン・リーグ　浜本　隆三
　報告　「中国的」イスラームの形成と「異端」　中西　竜也
　討論（概要）

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1　℡075-465-8151　1993年創刊
https://www.ritsumekan-wp-museum.jp/
◇84（29-1）2021.6　A4　19p

2020年5月に米国で起きた事件に派生する人種差別問題についての声
　明　立命館大学国際平和ミュージアム
「核兵器禁止条約」批准国の発効条件達成を歓迎する　吾郷眞一／安斎育郎
展示報告
　常設展　ＷＥＢ展示
　特別展　2020年度特別展　KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2020
　　アソシエイテッド・プログラム　「放射線像／Autoradiograph―
　　放射能を可視化する―」／2020年度秋季特別展「CITY　&
　　PEACE 南京国際平和ポスター展」
　ミニ企画展示　130回「世界一貧しい元大統領から学ぶ“本当の豊

かさ”」、131回「Us～学生が見たロヒンギャ～」、132回「中国人強制連行・強制労働と万人坑(人捨て場)」、133回「戦後75年特別企画　ミュージアム・この１点(WEB展示)」、136回「おなじ太陽のもとで―ペルーへ日本人の移民の始まり―」、137回「学徒出陣　林尹夫をさがして―1943-2021―」

アウトリーチ　図書館　展示協力「井戸も掘る医者―ペシャワール会の医療活動・緑の大地計画―」

平和教育研究センター活動報告

センター企画・公開講演会　講演会　オンライン講演会「感染症と私たち」

プロジェクト研究　平和博物館における戦争体験継承／博物館の資料研究(一五年戦争セクション)／博物館の資料研究(戦後社会セクション)／自衛隊基地の地域社会史／京都・欧州人権セミナー／3.11後の平和博物館の展示内容の改善と国際ネットワークの構築／附属校平和教育研究会／附属校平和教育研究会

紀要『立命館平和研究』第22号発行／『資料研究報告』第5号―博物館の資料研究プロジェクトの成果発信

教育普及活動　教材キット・パネルの貸し出し／博物館実習／インターンシップ、チャレンジ体験／ＮＧＯワークショップ／第67回　不戦のつどい「わだつみ像」前集会

博物館資料　資料・図書の受入(寄贈・寄託)

第10回国際平和博物館会議報告　第10回国際平和博物館会議支援

2020年度活動記録／リニューアルに伴う休館中のご利用案内

遊心雑記　福島に「伝言館」をつくりました　安斎　育郎

大　阪　府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425　井田寿邦方　℡0724-28-0204

年1200円　http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇402　2021.6　B5　12p

松浦肥前守光の死　嶋中　佳輝

金熊寺権現社神主矢野家の『永代記録』に見る泉南江戸期の災害記録(3)　下村　欣司

室町幕府中枢の動きと和泉(25)最終　九　信長・秀吉の登場(続)

(6) 秀吉の登場と泉南・紀北制圧(1582～85)(続)　井田　寿邦

史料紹介　泉州の地誌(5)
　藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(5)　井田　寿邦
◇403　2021.7　B5　20p
立石垂顕念典が生きた時代と人々(10)　第五章　立石家譜を読む(続)
　立石　元
土地台帳にみる土地利用(10)　佐野　井田　寿邦
現代語訳「食家と佐野と海」(11)　二山　和美
一年間を振り返る　事　務　局

◆大阪歴史懇談会会報
　〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2　アンティークショップ一兵内　℡06-6931-1081　年5000円　1984年創刊　http://osakarekikon.cocolog-nifty.com
◇439（38-5）2021.5　B5　4p
神のおやしろのこと(61)　森ノ宮(鵲森宮)　和久　敦也
ブック・インフォメーション　特集・歴史図書案内　『一揆の原理』
　呉座勇一、『一向一揆の基礎構造』―三河一揆と松平氏　新行紀一、『一向一揆と石山合戦』神田千里、『一向一揆論』金竜静、『戦国期の真宗と一向一揆』新行紀一
◇440（38-6）2021.6　B5　4p
神のおやしろのこと(62)　森ノ宮(鵲森宮)（2）　和久　敦也

◆かいづか文化財だより テンプス　貝塚市教育委員会
　〒597-8585貝塚市畠中1-17-1　℡072-433-7126　1996年創刊
◇74　2021.6　A4　8p
表紙　国宝孝恩寺観音堂　令和の大修理　進む屋根瓦の工事
国宝孝恩寺観音堂　令和の大修理(3)
　瓦座と桟木の取り付け／軒平瓦、平瓦を葺く／軒丸瓦、丸瓦を葺く
東京オリンピックと貝塚―貝塚市歴史展示館の展示資料から(3)
国の天然記念物　和泉葛城山ブナ林を守るために
根福寺城跡の調査
古文書講座―市内に残る身近な古文書　ぼっかんさん紀の路を行く2

◆近畿文化　近畿文化会
　〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13　上本町YUFURA 7階
　℡06-6775-3686　年2200円　http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/
◇859　2021.6　A4　10p　300円

馬見丘陵公園の古墳　関川　尚功
古代の三大疾疫と防疫　岡田　登
◇860　2021.7　A4　8p　300円
縄文時代晩期の葬法と身体改変の慣習
　―奈良県観音寺本馬遺跡の発掘調査成果から　松田　真一
京都洛西の庭　天龍寺と大河内山荘　矢ヶ崎善太郎

◆左海民俗　堺民俗会
　〒593-8302堺市西区北条町２丁10-11　佐原浩二方　℡072-275-8588　年3000円
　https://ameblo.jp/skmz2014
◇166　2021.5　B5　6p
「河内鋳物師」２―大仏鋳造　奈良から鎌倉へ　光田　三生
明日香の栢森探訪　下谷　佐吉
コロナ禍の中出　一色　若夫
鰐口について　川村　淳二
2021年度　堺民俗会行事計画
川村さんの投稿文について　佐原　浩二

◆除痘館記念資料室だより　洪庵記念会除痘館記念資料室
　〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17　緒方ビル　℡06-6231-3257　2010年創刊
◇14　2021.6　A4　8p
岡山の牛痘種痘と緒方洪庵　下山　純正
野中兼山と疱瘡(天然痘)―土佐種痘前史　古西　義麿
新町緒方病院と今橋緒方病院　川上　潤
新型コロナウイルスをめぐって　米田　該典
熊谷直恭(蓮心)と小山肆成(蓮洲)―『引痘新法全書』刊行をめぐる絆　淺井　允晶
緒方知三郎伝―「一筋の道」に思う　緒方　高志

◆城だより　日本古城友の会
　〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28　平川大輔方　℡06-6652-4511
　http://www.kojyo-tomonokai.com
◇630　2021.6　B5　32p
信州上田　村上氏連珠砦の虚空蔵山城と飯綱城を訪ねて　宮島　茂
高知県南国市「蛸の森城跡」を訪ねて　坂本　昇
尾張名古屋城金鯱、16年ぶりに地上に　平川　大輔
◇631　2021.7　B5　24p

京都府綾部市山家陣屋跡を訪ねて　坂本　昇
丹波山家城(甲ヶ峰城)を訪ねて　下岡　力
別冊(B4　8頁)　第693回例会　近江　洛中に4つの二条城を訪ねる
　担当幹事：木下修二・平川大輔

◆つどい　豊中歴史同好会
　〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208　小川滋方　月1000円
　1988年創刊　http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇401　2021.6　B5　18p
『日本書紀』の暦について―神武即位辛酉革命説を見直す(後編)　上遠野浩一
読書室　『旧石器考古学辞典』四訂版　雄山閣　旧石器文化談話会編
　／『国史跡　平野塚穴山古墳発掘調査報告書―保存整備事業に伴う
　発掘調査』　香芝市教育委員会
平群谷の古墳と式内社を訪ねる　石塚　一郎

◆ヒストリア　大阪歴史学会
　〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1　神戸大学大学院人文学研究科
　古市晃研究室気付　1951年創刊　http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp
◇285　2021.4　A5　71p　900円
古代難波津の歴史的変遷―難波御津(大津)から難波三津(御津)へ　西本　昌弘
わたしたちの文化財　新田会所としての筒井家住宅　小林　初惠
書　評
　木場貴俊著『怪異をつくる―日本近世怪異文化史』　杉　岳志
　塚本英樹著『日本外交と対中国借款問題―「援助」をめぐる協調と
　　競合』　中谷　直司
新刊紹介　西尾賢隆著『中世禅宗史叢説』　中村　翼
報　告
　御廟野古墳(天智天皇山科陵)保全整備工事への立会　山田　暁
　新型コロナウイルス感染症下における歴史資料ネットワークの活動
　　跡部史浩／小野塚航一／吉原大志
　第55回「建国記念の日」不承認2・11大阪府民のつどいの記録　企画委員会
　高輪築堤の保存要望に賛同　全体委員会
◇286　2021.6　A5　91p　900円
「両局兼帯」の成立と中世後期の外記・弁官局　森田　大介
別伝騒動をめぐる一考察
　―斎藤義龍の戦略と臨済宗妙心寺派の諸動向から　岩永　紘和

地域の歴史を守り伝える　摂津国住吉郡北田辺村三枚家文書の整理　村田　路人
書　評
　中井均著『中世城館の実像』　中西　裕樹
　小磯隆広著『日本海軍と東アジア国際政治―中国をめぐる対英米
　　政策と戦略』　森山　　優
2021年度大会報告要旨
　考古・部会報告
　　唐古・鍵遺跡の構造　柴田　将幹
　　和泉地域の弥生時代集落についての一考察
　　―池上曽根遺跡を中心に(仮)　上田　裕人
　古代・部会報告　公廨稲制度の展開と国司　増成　一倫
　中世・部会報告
　　鎌倉幕府御家人制と守護　勅使河原拓也
　　東寺五方の構造と寺院財政　青木　貴史
　近世・部会報告
　　株仲間再興後の大坂における油の生産と流通構造
　　―摂津国遠里小野村を例に　島﨑　未央
　　近世中後期における陣屋元在郷町と譜代藩政の動向
　　―古河藩土井家領の摂津国平野郷町を事例に　松本　充弘
　近代・部会報告　戦後日本における教員社会の展開と地域社会運動
　　―京都府丹後地域の青年教員の動向を中心に　富山　仁貴

兵　庫　県

◆家系研究　家系研究協議会
〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203　馬原浩一方　℡079-424-0921
年5000円　1981年創刊　http://www.geocities.jp/kakenkyou/
◇71　2021.6　B5　118p　1500円

美濃土岐氏の祖先についての雑考―清和源氏出自は系図原態なのか　宝賀　寿男
古書に見える珍姓・難読姓(3)　安原　繁利
先祖調べは大人の総合学習
　―ＳＮＳ時代の特性を生かしたデジタルとアナログの融合　野口　裕子
阿波公方・第十四代将軍足利義栄について　安居　隆行
消えゆく甲斐逸見一族　真野　信治
正成以前の系譜の調査　岡田　有史
嵯峨源氏の伝承について(1)―筑後柳川藩士三池氏の系図　山邉　尚幸

薩摩刀匠　浪平正国一千年秘話　刀鍛冶の里(11-3)　浪平　博司
ここでちょっとコーヒーブレイク　「鬼」の付く名字　馬原　浩一
表紙家紋「丸に違い柏」　馬原　浩一

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203　馬原浩一方　℡079-424-0921
年5000円　2002年創刊　http://kakenkyou.g2.xrea.com

◇**75**　2021.4　B5　8p

頑張れ殿様知事　馬原　浩一
家系研究協議会　令和２年度　秋の例会(創立40周年記念講演)報告
「明智光秀と本能寺の変―光秀謀反の背景と動機を考える―」　歴史作家　桐野作人氏　(馬原)
家研協たより　会員の出版情報　宝賀寿男会長　古代氏族の研究シリーズ第17弾『毛野氏　東国の雄族武家の源流』／家系研究協議会次回以降の例会について／家研教文庫閲覧について
書評　「王」と呼ばれた皇族　赤坂恒明著　日本史史料研究会監修　(馬原)

◇**76**　2021.6　B5　8p

すごいハンコ屋　馬原　浩一
家系研究小ネタ特集(2)　渋沢栄一の家系について　(馬原)
家研協たより　会員情報　敬称略、訃報のお知らせ　吉成勇氏／家系研究協議会次回以降の例会などについて

◆源右衛門蔵　宝塚の古文書を読む会

〒665-0836宝塚市清荒神1-2-18　宝塚市立中央図書館市史資料室気付
℡0797-85-0648　1999年創刊

◇**23**　2021.6　A5　172p

解読文
凡例（令和2年6月～令和3年5月学習）
御触書并訴状控(文化七年より)［資料番号B-25］
売布社拝殿大火焼失
御触書并訴状控(文化八年より)［資料番号B-15］
氏神焼失再建願
アマビエ「肥後国海中の怪アマビエの図)」(京都大学付属図書館蔵)より
売布社焼失願書控同再建願書之控［資料番号　目録集26-89］　乍恐口上(売布社本社より出火)／乍恐書付ヲ以奉願上候(氏神焼失仕、

再建仕度)／乍恐御訴訟(拝殿在来之通ニ而)
氏神売布社焼失ニ付再建普請願書之留［資料番号　目録集6-89］
乍恐御訴訟(拝殿在来之通ニ付)／別紙一札之事(入札内容)／乍恐
御訴訟(雨覆・廊下屋根新建仕度)
売布社木の鳥居大破ニ付取替願［資料番号　目録集6-88］　乍恐以
書附奉願上候(石之鳥居ニ取替再建仕度)／鳥居建場所為見分

《和田正宣代表　追悼集》

『源右衛門蔵』二三号追悼集の発刊に寄せて　山﨑　晴恵
『源右衛門蔵』二三号追悼集の発刊に寄せて　森　恵美子
新境地開いた古文書の防人　大国　正美
和田家文書と和田正宣さんの思い出　佐賀　朝
和田さん、ありがとうございました　木村　修二
和田正宣氏を偲んで　直宮　憲一
和田正宣さんを偲んで　田野　一哉
和田正宣様を偲んで　倉橋　滋樹
和田正宣さんとの思い出　中安　恵一
和田さんを偲んで　乾　文男
和田正宣代表を偲んで　川田和香子
和田さんからいただいたもの　北田　彩加
新年会の思い出　櫛田　育子
追　悼　近藤　節子
和田さんを思う　谷川やす子
和田さんと寺子屋のこと　仲井真喜子
和田代表を偲んで　中安　章夫
和田さんのこと　西垣　幹雄
追懐　読書会のことなど　原田　修
和田正宣代表をしのんで　藤本　清志
思い出(和田正宣氏)　増田　勝彦
奈良郡山の思い出　和田與吉郎
江戸時代の旅と庶民―伊勢参宮より　乾　文男
長尾山のふもと　谷川やす子
虎列剌からコレラまで　はらだおさむ
平尻道(へんじりみち)　瀬　將英騏
蘇民将来(茅の輪くぐり)―無病息災・厄難消除・開運厄除　藤本　清志
ほんのひととき―そうだ京都へ行こう　山下須美雄
師走におもう　楊井ツヤ子

アマビエ　山本　久美
私が古文書に接したキッカケと今　柄谷　則啓
古文書との出会い　杉本　和子
入会のご挨拶にかえて　森田　寛
喜寿の手習い　森本　敏一

◆生活文化史 史料館だより　神戸深江生活文化史料館
〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7　℡078-453-4980
1981年創刊　http://fukae-museum.la.coocan.jp
◇**49**　2021.3　B5　28p
表紙　本家・網屋茂左衛門旧宅（昭和31年ごろ　岡田堯至氏提供）
岡田茂左衛家と深江　大国　正美
深江の心象風景(1)　氏神と踊り松　筆者・岡田茂美／解題・大国正美
深江物語(11)　正寿寺の創立と幕末の事件　森口　健一
図書館サービス一・五倍に激増

◆摂播歴史研究　摂播歴史研究会
〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12　℡079-442-0658　1986年創刊
◇**85**　2021.7　B5　4p
加西市旧県社　住吉神社の創建とその背景　熊谷　保孝

◆西宮文化協会会報
〒662-0974西宮市社家町1-17　西宮神社内　℡0798-33-0321
http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/
◇**639**　2021.6　B5　8p
西宮歴史調査団十五年のあゆみ　猪岡　叶英
海から見た西宮　土井久美子
お知らせ　手作り甲冑作家　時本昭男氏　展示・解説／訂正
会員活動報告　ホームカルチャー(園芸文化)の実践　中村宏／山本純子
◇**640**　2021.7　B5　8p
ごあいさつに寄せて　岡本三千代
理事就任のご挨拶とともに　小野　篁
「みちのまち」生瀬の歴史と文化財―石造物　西尾　嘉美
小説の旅―てんやわんや　奥　喜代孝
会員活動報告　『神戸深江文化村』に因む国際歌曲を披露　中村宏／山本純子

◆年報 香寺町の歴史　香寺町史研究室（発行：香寺歴史研究会）

〒679-2131姫路市香寺町犬飼464-1　犬飼公民館別館　℡079-280-6665

◇15　2021.3　B5　84p

《特集　ふるさとマップを描く》

基調講演　地図に「私たちの歴史」を描く　井上　舞

提案型協働事業報告会

協働事業報告会（マップ完成報告会）

令和二年度協働事業全体報告

ふるさとマップを描く―昭和の記憶を残す　大槻　守

報　告

昭和三十年代の行重マップ作製について　神崎　茂樹

ふるさとマップ作成にあたって　長岡　晃澄

ふるさとマップを描く　寿賀　孝

感　想

ふるさとマップを作成して思うこと　駒田　新安

溝口のふるさとマップを書き終えて　鎌谷　博善

ふるさとマップの作成　中安　清行

歴史研究会活動報告

歴史研究会事業報告

定期総会の開催

ふるさとマップ作成事業完成報告会（協働事業報告会）　（大槻）

『ふるさとマップ』の展示会　竹尾　元一

小中学校・地域調べ学習

コロナ禍の中で　堀　晶子

総合学習「中寺の町のステキをさがそう」（五年生）

中寺小学校　武内陵午・板東俊明

レポート

犬飼大字誌「犬塚からの歩み」の刊行　金井　静男

大字誌「中仁野のいぶき」の発刊を終えて　伊森　克幸

香呂で歴史資料展示会　（大槻）

山上の「八徳山村」消滅の謎を追う（神戸新聞　2020.9.26）

恒屋城跡の保存活動　橋本新一郎

相坂子ども用プール建設までの経緯　駒田　琢三

須加院の歴史的考察　中塚　琢三

昭和30年代の生活（中仁野）　井野節子（旧姓高田）

子どもの頃の思い出　香呂駅前　中村香代子

子どもの頃の思い出　香呂東垣内　　藤尾　昭明

『昭和30年代　香寺ふるさとマップ集』刊行

町史研究室通信　小・中学生の地域調べ／町史史料保存問題／香寺歴史研究会結成一五年

日々小論　歴史の相談承ります　姫路本社編集部長　田中伸明（神戸新聞　2021.1.23）

『香寺町の井堰―慣行水利届出書控綴』の刊行

年報
香寺町の歴史
第15号　令和3年3月
特集　ふるさとマップ作成

＊冒頭の神戸大学大学院人文学研究科井上舞氏の基調講演タイトル、〈地図に『私たちの歴史』を描く〉が端的に示しているとおり、市民参加で、自分の住む地域の地図を描き、視覚的に地域の歴史的変遷を知り、歴史に詳しくない（と思っている）人や子どもたちに伝えていくという、大変に興味深く、また楽しそうな「辻川界隈ジオラマワークショップ」の報告である。

これは同大学大学院工学研究科棚橋研究室が2011年以降に取り組んできた「『失われた街』模型復元プロジェクト」の手法を応用し、兵庫県福崎町、神戸大学人文学研究科地域連携センター三者による共同型協力研究として、福崎町辻川界隈の歴史の掘り起こしと記録につなげるために実施されたプロジェクトである。

明治時代から現代までを、「航空写真や国土地理院等高線データなどを参考に、スチレボードやアクリル板を用いて地面や水面を作り、発砲スチロールで作成した住宅を並べ」、個人の自宅や屋根の形なども可能な限り再現して、500分の１の模型を作り上げた。

辻川といえば柳田國男の生地である。だが、明治期の辻川に関する資料は、柳田の『故郷七十年』の記述を除いては殆どなく、明治期の辻川を視覚的に再現することは困難が予想された。そこで、「まずは辻川に住まう人々が、辻川という地域の歴史的な変遷を捉え直すところからはじめてはみてはどうか」ということで、夏休みで帰省する人の多い８月の５日間、辻川公民館を借りて話を聞くこと

にした。当日は辻川区長の呼びかけもあり、初日から老若男女様々な人が訪れて、真っ白だった模型に、そこで語られた情報を小さなアクリル板に書き込んだ「記憶の旗」752本もが立てられたという。井上氏は、「一人の語りによって周囲の記憶が喚起されるのか、記録が追いつかないほどの多彩な情報をえることができた」、「模型そのものが、記憶を引き出す装置として機能した」と記している。参加者の感想を読んでいると、あそこに共同井戸があった、タバコ乾燥場もあったはずだ、と弾む声が聞こえて来るようだ。

こうして町内18地区のマップが完成した。各地区は、変化やその速度、残された歴史がそれぞれに違う。そのため、記録する時代のみを設定し、あとは各地区の裁量で取り組んだ。その結果、画一的にならず、「豊かな個性をたたえたマップ」ができあがったとのことである。

この取り組みに対して、女性と防災の視点を積極的に取り入れるべきとの要望があったという。前者は生活者としての女性の記憶を残しておくことで、もっと豊かな地域の歴史を描き出されるはずであるとの意見であり、後者は、ハザードマップや行政の記録に残りにくい小さな災害の記録は地域住民こそが熟知しているものであり、将来的に地域の人々の生活と命、文化財を守ることに繋がっていくとの考え方からである。大事なことだと思う。

ワークショップについては、『福崎町連携事業平成二十七年度活動報告書「共同型協力研究　辻川界隈ジオラマ模型制作―柳田國男が暮らした町並みの復元―」』（神戸大学大学院工学研究科建築学専攻棚橋研究室・神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター、2016年3月）に詳細がまとめられている。

柳田が『故郷七十年』で「私の家の小ささは日本一だ」と記した生家や、子どもの頃に入り浸って蔵書を耽読した三木家の二階建ての「土蔵風の建物」は、ジオラマにどのように再現されているのだろうか。

◆歴史と神戸　神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4　田中印刷出版内　℡078-871-0551

年3000円　1962年創刊

◇**346**（60-3）2021.6　A5　49p　600円

《特集　ひょうごの中世への視線》

史料紹介　文明十五年卯月三日馬太夫等連署証文

―播磨国美嚢郡の中世村落における一水利慣行　田中　隆次

近世以前の鵯越は鳥原を経由していたのか　田畑　豪一

源満仲の多田進出と寺社勢力―摂津国川辺郡域の変化を考える　渋谷　武弘

高砂と淡路の梶原景時子孫の盛衰

―源頼朝側近の滅亡後も地方に生きた系譜　北山　學

兵庫県西国街道一里塚(8)―神戸市兵庫区湊川　中村　和男
地域から　佐用郡地域史研究会の活動について
　水害の危機を逆手に大学と連携し飛躍　竹本　敬市
地域歴史資料継承領域第３回研究会
「統合型」博物館と住民参画―阪神間の事例
新聞地域版を読む　神戸新聞の文化財記事(2014年9月29日～10月24日)
大国正美／有吉康徳

奈 良 県

◆大美和　大神神社
〒633-8538桜井市三輪　℡0744-42-6633　http://www.oomiwa.or.jp
◇141　2021.7　B５　72p
宝物収蔵庫開館五十年記念　大神神社伝来の二組の乾漆仏像
　―大直禰子神社乾漆断片と聖林寺十一面観音像　山崎　隆之
子持勾玉の祭祀儀礼―土師氏から三輪氏へ　大平　茂
北部九州の勾玉祭祀の出現とその背景―北東部地域を中心に　宇野　愼敏
三輪山と大物主神とオホタタネコの神秘と謎　鎌田　東二
隅田八幡人物画像鏡とオシサカ宮　河内　春人
茶の湯　立札棚と茶室庵号　二村　和幸

和 歌 山 県

◆熊 野　紀南文化財研究会
〒646-0051田辺市稲成町392　高山寺　曽我部大剛方　℡0739-22-0274
年3000円　1969年創刊
◇160　2021.5　A５　70p
持統天皇の牟婁温泉行幸　寺西　貞弘
南山＝熊野山　堀　純一郎
豊臣秀吉の朝鮮侵略戦争動員における「紀伊国衆」の内実　藤井　寿一
徳川吉宗の施策と本宮町―産業と生活の展開　廣本　満
狩場明神と稲荷神と千代定―中世の熊野信仰の正体に関する仮説４　蓑　虫
郷土関係新刊紹介　地方史研究の最前線　紀州・和歌山／和歌山県の祭りと民俗／熊楠　生命と霊性／熊楠と幽霊／聖地・熊野と世界遺産
文化財ニュース　第五一回田辺市文化賞は多屋朋三氏／大福院を創建

当時の姿に復元完了／熊野速玉大社「御燈祭り」の上がり子が中止となる／千光寺の梵鐘、三栖組大庄屋眞砂家屋敷跡、木守の風穴が田辺市指定文化財となる／「樫野埼灯台及びエルトゥールル号遭難事件遺跡」が国史跡となる／特別陳列　新収蔵品展／旧古座高等学校の資料を展示／古座川流域の山城跡三カ所を確認／第三一回南方熊楠賞は山極寿一氏／旧谷畑家主屋と楞厳寺（りょうごんじ）本堂が登録有形文化財となる／小学生が江戸時代の仏具を発見／庵居近世用水路と籠松山城跡が和歌山県指定文化財となる

◆熊歴情報　熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1　新宮市役所商工観光課　山本殖生

℡0735-23-3333　年3000円

◇222　2021.7　B5　2p

総会報告　5月27日（木）午後２時から　新宮市旧チャップマン邸／新役員紹介（敬称略）／研修講演会　三重県立熊野古道センター理事桐村英一郎先生／影絵「名取老女物語」オンライン鑑賞交流／『西行の和歌と伝承』中西満義先生／北檜杖荘司の中世山城を見学／事務局より

◆国際熊野学会会報

〒647-8555新宮市春日1-1　新宮市教育委員会文化振興課

℡0735-23-3368　年3000円　2005年創刊

◇35　2021.5　A4　4p

（共同研究の自己紹介）　山本　恭正

2021年度大会・例会の開催について（重要なお知らせ）　合同大会　「まつり同好会」創立60周年記念行事への共催　奥三河「花祭」の世界、例会　紀の川市例会　「旅と文化と～寺社縁起と西行伝承～」／会誌『熊野学研究』について

コロナ禍をどう生きるか？　山本　殖生

島　根　県

◆郷土石見

〒697-0017浜田市原井町1023-9　森脇晋平方　1976年創刊

◇116　2021.6　A5　128p　1200円

表紙写真　旧ＪＲ三江線の第四江川橋梁を渡るトロッコ（島根県邑南

町下口羽～広島県三次市作木町伊賀和志）　写真・文　森田一平
海洋学者・丸川久俊の研究を読む(9)―日本海の海洋調査　森脇　晋平
石見銀山の石造アーチ橋を探る(2)―羅漢町石造アーチ橋　高橋　悟
島村抱月の演出力への考察―トルストイ作『闇の力』の上演を通して　岩町　功
大内義弘の益田退治が及ぼした影響(1)　岩崎　健
私生活を綴った歌日記―人麻呂歌集についての考察(2)　安達　肇
芋塚さんの建立　田城謙二郎
イルティッシュ号の話　村上　英明
小説『北辰の旗』～松平武聡の憂鬱　徳原　繁一
町から村から　久代の浦恵比須講　山崎　重子
その他　第２回「大元・石見神楽調査研究賞」優秀賞　石見地方とその周辺地域の神楽における「天狗」の登場に関する考察　柿出　浩輔

岡　山　県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28　光珍寺内　℡086-222-2028　年2000円
2002年創刊

◇**79**　2021.7　A４　10p

「宇喜多騒動」についての一考察　小川　博毅
「戸川家譜」の性格と浮田休看の呼称・分限　大西　泰正
悲運の武将・宇喜多秀家(2)　名花お福そして秀家の誕生　内藤　勝輔
物語直家記伝　西大寺辺の城　第49回　転変(5)　山重十五郎
宇喜多氏関連遺跡の写真展(16)　岡山城本丸大納戸櫓模型　矢部　隆正

◆岡山藩研究　岡山藩研究会

〒169-8051東京都新宿区西早稲田1-6-1　早稲田大学教育学部　大橋研究室気付
http://okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/

◇**89**　2021.7　B５　8p

〈第49回全体会の記録〉
報告要旨　『薩藩旧記雑録』所収史料に関する試論　畑山　周平
参加記
畑山報告を聞いて　松澤　克行
畑山周平報告「『薩藩旧記雑録』所収史料に関する試論」参加記　深谷　克己

◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14　難波俊成方　年4000円

http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com

◇226　2021.5　B5　8p

庶務担当からのお願い

学会記事

二月例会　中止

令和二年度・第五十回岡山民俗学会賞選考委員会について

役員会開催

令和三年度総会・研究発表大会

◆きび野　岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15　702号　℡086-233-2505

http://www.o-bunka.or.jp

◇162　2021.6　A5　14p

新任のごあいさつ　石井　清裕

随想　未来につながる物語を「人が出会い影響を与え合いながら社会のために！」　小川　孝雄

岡山の人物　志田義秀(素琴)　万城　あき

岡山の自然　カブトガニ繁殖地　安東　康宏

岡山の文化財　戦争遺跡・トーチカ―蒜山原陸軍演習場遺跡群　前原　茂雄

わが町・わが村の自慢　倉敷市立真備図書館(倉敷市)

ふるさとの想い出　旭川の鉄橋(岡山市北区～中区)

会員だより　「幸島」においでんせー　近藤　孝正

広　島　県

◆備陽史探訪　備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8　℡084-953-6157　http://bingo-history.net

◇219　2021.7　A4　18p

備後国衆列伝(7)　芦田郡の芥川氏　田口　義之

研究メモ　辻堂ファンの弊害　大迫堂に物申す　秋山　由実

調査報告　有地殿奥城踏査報告　中世史部会

田口義之の備後山城50選(44)　三原城の詰めの城　桜山城

研究レポート　道三町の謎(3)―道三町移動説　瀬良　泰三

調査報告　中世石造物の調査報告　文責・篠原芳秀

研究レポート　片山城について　杉本　憲宏
近世福山の歴史講座　水野福山城、幕府接収
　第一章　福山城接収／第二章　旧水野家中へ幕府令　高木　康彦
大門便り　大門町の山城　曽我部　光
読者ノート
　1枚の写真から　藤井川にかかる「真田橋」の新旧風景／短歌 de
　歴史　駅前広場学校跡の石碑見ず生徒は走る駅の階段　岡田宏一郎
『日本書紀』の吉備国　五、戦う吉備国　若林　啓文

◆**みよし地方史**　三次地方史研究会
〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747　中畑和彦方　℡0824-44-2753
1987年創刊
◇**114**　2021.6　A4　12p
「青河ふるさと探訪の会」の二十四年　米丸　嘉一
江戸時代における三次町の行政区分の整理　川邊あさひ
資料紹介
「文政二年　国郡志御編集下しらへ書出帳　豊田郡忠海町　村」(2)　立畑　春夫
天保八年　疫病退散之御祈祷御触書　中畑　和彦
二〇二一(令和三)年度総会記念講演『史料保存と文書館―三次地方の
　史料紹介を兼ねて―』　講師：西向宏介氏
「みよし地方史」(101～113号)掲載文著者別目録(50音順、敬称略)

◆**わが町三原**　みはら歴史と観光の会
〒723-0051三原市宮浦6-9-32　鈴木方　年3600円　FAX0848-63-9932
◇**363**　2021.6　B5　12p
表紙　快晴下で春のハイキング　塩釜神社にての集合写真　2021.4.11
　撮影　三菱重工労組三原支部　橋詰書記長
今月の各地　「ムクロジ(黒恵子)」に「出会う」　津島　敏子
令和3年度春のハイキング感想文
　コロナ禍でのハイキング・全員無事完歩でひと安心！　正田　哲夫
　2021年春のハイキングの感想　吉岡　利文
　春のハイキング　糸崎・旭町・古浜コース　一瀬　尚志
三原市のカワウ対策　第2報(前期)(2)―平成24年～平成29年の取組
　平成25年(2013年)(つづき)　行長　啓三
◇**364**　2021.7　B5　12p
今月の各地　沼田川クリーンキャンペーンに思うこと　山本　公恵

足利義昭は三原へ来たか？(1)　大谷　和弘
日本の牛と馬、交通の歴史(13)　三好　邦範
三原市のカワウ対策　第２報(前期)(3)―平成24年～平成29年の取組
　平成26年(2014年)、平成27年度(2015年)　行長　啓三

山　口　県

◆山口県地方史研究　山口県地方史学会
〒753-0083山口市後河原150-1　山口県文書館内　℡083-924-2116　1954年創刊
http://www.ysflh.jp
◇125　2021.6　A5　136p

毛利輝元の正室南方(いま)と山口　小川　國治
徳山藩断絶要因解明の一試論
　―萩藩主毛利吉元の主張と徳山藩主毛利元次の実情　吉田　真夫
近世前期における医師の活動と長府藩―菅玄的を事例として　松田　和也
古谷道庵日乗にみる安政年間のコレラ流行　大末　和廣
萩藩の解剖と医学教育について　石川　敦彦
大村益次郎の政治思想　三宅　紹宣
野田神社の絵馬と山代―明治一桁代の民政と杉民治　山崎　一郎
クリスマス市イベントにおける南蛮菓子フィリョースについて
　石永雅子／森永八江／五島淑子
地方だより　大島地区(中野行真氏提供)／岩国・玖珂地区(松岡智訓氏・藤重豊氏提供)／熊毛地区(林芙美夫氏提供)／光地区(国広哲也氏提供)／下松地区(弘中義雄氏提供)／防府地区(吉瀬勝康氏提供)／山口地区(古賀信幸氏提供)／宇部地区(小野田智文氏提供)／美祢地区(藏本隆博氏提供)／下関地区(畠中茂朗氏・岡松仁氏提供)／長門地区(岡村安彦氏提供)／萩地区(相馬宏美氏・道迫真吾氏提供)
発表要旨　第133回研究大会
　琳聖太子母后伝説の後世運用と本来像
　　―朝鮮交易に先行する大内氏領国伝説の展開状況　北川　健
　萩藩毛利家における乳母　石田　俊
　『関門日日新聞』に見る戦時期日本へのユダヤ難民到来
　　―1938年11月～1940年8月　菅野　賢治
　長州毛利家の家臣と浪士たち
　　―文久・元治期の政治工作を中心に　熊野　一就

徳 島 県

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山　徳島県文化の森総合公園　℡088-668-3636

1990年創刊　https://www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇123　2021.6　A4　8p

特集　「新常設展グランドオープン」

「徳島まるづかみ―“いのち”と“とき”のモノ語り―」

8月上旬、新常設展グランドオープン

考古資料のハンズオンキット　岡本　治代

新常設展に向けたセトウチサンショウウオの収集　井藤　大樹

徳島恐竜コレクション

地学担当　辻野泰之

吉野川上流でのアユ釣り映像撮影

―ＶＲ体験ルームのコンテンツ制作の裏側　磯本　宏紀

新発見のスイギュウ化石が展示されます　中尾　賢一

福 岡 県

◆季刊邪馬台国　梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1　℡092-643-7075　年5400円　1979年創刊

◇140　2021.7　A5　200p　1350円

巻頭言　桃太郎伝説の種　編　集　部

時事古論　第12回　謎の鏡・「金銀錯嵌珠竜文鉄鏡」の徹底的探究

これは、あるいは「卑弥呼の鏡か」？　探究連載(2)　安本　美典

〈総力特集　吉備・瀬戸内の古代文明〉

吉備津彦命伝承を追う　石合　六郎

吉備邪馬台国東遷説と桃核祭祀・卑弥呼の鬼道　國　將男

埴輪から陶棺へ　尾上　元規

田川古代史フォーラム　卑弥呼への想い　九州説の夜明け

田川古代史フォーラムについて～卑弥呼連邦の謎　永原謙太郎

邪馬台国と遠賀川古代文化　高島　忠平

邪馬台国は遠賀川流域から東遷した―饒速日の命伝承をさぐる　安本　美典

ここにあり　邪馬壹国―卑弥呼が祭った鷹羽の神々、始まりは『ひこ山』から　福永　普三

私の町の博物館(3)　邪馬台国の時代、津島遺跡から見えてくる吉備

遺跡＆スポーツミュージアム　島崎　東
世界遺跡巡り(17)　韓国　武寧王陵（武寧王妃合葬墓）　井上　修一
筑紫君磐井をたずねて(1)　古墳の舞「大王よ　蘇れ」　綾杉　るな
オトナ女子のコラム　晴れ、ときどき、古代史　藤江かおり
書評　『吉備の古代史事典』薬師寺慎一著　吉備人出版　金澤　健吾
神社仏閣、縁起めぐり(7)　桃太郎伝説、始まりの地「吉備津神社」　編　集　部

◆市史研究ふくおか　福岡市博物館市史編さん室
〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1　℡092-845-5245
2006年創刊　http://www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/
◇16　2021.3　A4　126p
筑前入国後における黒田如水の居所と行動　中野　等
藩医の世界―田原家九代養柏を素材にして―福岡編　上関　慶子
「諸用日記録　二」(2)　八嶋　義之
記録に残された警固銘瓦―海妻甘蔵著『己百斎筆語』と國學院大學所蔵「柴田常恵拓本資料」　原田　論
「月曜附録」と記者・黒田静男
―大正期の『福岡日日新聞』文芸欄について　加藤三枝子／谷智子
福岡市東部における古墳時代以前の遺跡立地と地形環境　磯　望
福岡市史編さん事業活動報告(令和2年1月～12月)
表紙　絵葉書「(福岡百景)西公園より福岡市街を望む」(福岡市博物館所蔵)

佐　賀　県

◆末盧国　松浦史談会
〒847-0823唐津市旭が丘6-5　℡0955-73-3549　年2000円　1962年創刊
◇226　2021.6　B5　20p
市指定重要文化財　石造肥前狛犬一対　志佐　惲彦
唐津地方の歴史道　太閤道(一)下　馬場　良平
唐津・発掘・発見の話(14)
相知村梶山発見の石棺と忠魂碑のその後　徳富　則久
展示会案内　佐賀県重要文化財指定記念「磯道遺跡出土石器接合資料と磯道遺跡」展／佐賀県立名護屋城博物館　令和三年度テーマ展「玄界灘でクジラがとれた日」―よみがえる記憶とにぎわい／唐津城下町跡発掘調査成果展「木屋利右衛門と西の木屋」

岸川善太郎関係資料について(1)　多々良友博
幕末唐津藩の財政事情　山田　洋
書籍紹介　『唐津炭田・芳谷炭鉱の遺構調査報告書』芳谷炭鉱調査報告書第2集　2021　北波多の自然と歴史を守る会／『石井鶴山先生遺稿』中尾健一郎・中尾友香梨編　2021　公益財団法人孔子の里
「鉄」から紐解く唐津の歴史(1)
　―古代の鉄・鉄器生産の現状把握に向けて　立谷　総明
古文書紹介　『諸岡文書』K004「村方取締仕法」　濱口　尚美
磯道遺跡出土石器接合資料の県指定記念特別展に寄せて　島　龍太

長崎県

◆浜木綿　五島文化協会
〒853-0052五島市松山町604-10　筑田俊夫方　℡0559-74-2667
◇111　2021.5　A5　118p

ジオパーク認定まであと一歩！　永冶　克行
豊饒の浜―森澄雄の原郷　坂口かづさ
自然な暮らしへのあこがれ　大坪　昇平
東京渋谷の下宿屋さん　石田ちとえ
ジャーナリスト俳人・栗林一石路の受難と苦悩　内海　紀雄
「松滴会友」の戦中・戦後体験記より(上)　片山　圭弘
コラム　城一周／大銀杏／サイン筆跡／上五島日帰り　(筑)
そのほか・トピックス
　第16回五島列島小中高校生　短歌・俳句コンクール入選作品集
　復活か？海の短歌や俳句―生徒作品を選考して　筑田　俊夫
　この頃のわたし　片山　圭弘
　「浜木綿表紙絵にかける想い」　増田　常徳
　潮の目　ある日・ある時・五島の動き
　「みんのみんにみんのひゃって」「あっぱよ」　五島弁かるたの「読み札」より一部引用　令和3年1月25日　長崎新聞より一部抜粋

宮崎県

◆石の証言　「八紘一宇」の塔を考える会
〒880-0026宮崎市波島2-30-2　佐藤文則方　年2000円　1995年創刊
https://hakkouitiunotou.jimdo.com

◇102　2021.6　A4　8p
石の証言　満州国哈爾浜市　花崗岩　60×45　北面
情勢について／略奪美術品ナイジェリアに返還へ
「八紘一宇」の塔を考える会の30年(2)　税田啓一郎
沖縄戦と「黎明之塔」(5)　3月号の続き：最終回　野崎　眞公
戦争の昭和史「厳室」!! ―宮崎地区退教協花見ハイキング in 平和台　土岐　宗春
◇103　2021.7　A4　8p
石の証言　中支徐州雲龍山　中支徐州雲龍山　中支派遣軍徐州雲龍山
2020年度総会報告
小林市永久津中学校３年生修学旅行で「八紘一宇」の塔を見学
「八紘一宇」の塔を考える会の30年(3)　税田啓一郎
時代を超えて出会った二人の画家の共演　現代美術家・小松孝英さん
　個展
追記　沖縄戦と「黎明之塔」(5)　3月号の続き：最終回　野崎　眞公

◆みやざき民俗　宮崎県民俗学会
　〒880-0211宮崎市佐土原町下田島11858-7　崎田一郎方　年3000円
　1955年創刊　http://blog.goo.ne.jp/mzfolklore/
◇72　2021.3　B5　103p　2000円
表紙写真解説　「田の神像」(宮崎市)　文・写真　佐伯健治
コロナ禍で民俗芸能継承が危機　前田　博仁
特集　未来へ伝えるみやざきの行事・祭礼
　宮崎の神楽舞処の諸相　前田　博仁
　春秋に舞う宮崎平野の里神楽　那賀　教史
小川神楽とその芸態(3)―宮崎県児湯郡西米良村小川地区の神楽と神々
　小川地区民俗調査参加学生・徳丸亜木
資料紹介　神楽師匠、藤原宗重(後藤倉四郎)の墓　緒方　俊輔
みやざき歌物語り　原田　解
島野浦の枕石について―枕石を通してみた葬送儀礼の変容　小山　博
西来良村本山神社と妙見信仰　本山　隆義
『名越時敏日史』にみる武芸諸流派の状況について
　―西諸県地方を中心に　大學　康宏
書誌紹介　『宮崎発掘　史話四題』甲斐亮典著／『絵葉書でたどる　のべおか温故知新』甲斐盛豊著／『宮崎の植物方言と民俗　草木にまつわる昔からの言い伝え』南谷忠志著／『故郷の記憶　上巻　祈りと結いの民俗／下巻　生業と交流の民俗』那賀教史著　文責・編集委員会

令和元年度・二年度　宮崎民俗学会事業報告　清水　聡
宮崎民俗学会会誌目録
民俗調査を始める人のために　編集委員会

鹿 児 島 県

◆鹿児島民俗　鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18　阿多利昭方　℡099-253-1775　年4000円
1950年創刊
◇**159**　2021.6　B5　136p
表紙写真解説
　鵜戸神宮の九柱神社と黒尾神社の小宮（2021年3月27日撮影）　松原　武実
蘇鉄之事　毒抜きし救荒食に　名越　護
奄美流人さまざま　私塾聞き人材育成も　名越　護
岩川町麓に於ける葬送の民俗語彙　橋口　滿
コロナ禍における三島村硫黄島の芸能―社会的文献から捉える試み　荒木　真歩
黒島のお日待行事　日高　政行
本の紹介　唐鎌祐洋著『天文館の歴史』　春苑堂出版（かごしま文庫5）
　平成4年、『昔の鹿児島～かごしま　新聞　こぼれ話～』
　南日本新聞開発センター　平成20年　松原　武実
民俗アラカルト
　ウニセ（大ニセ）のセイクランゴ～いちき市串木野市照島の大綱引　森田　清美
みんぞく・かわらばん　たずね人　服部清左衛門　松原　武実
わたしの昭和（11）　食事編（昭和16～35年）　所﨑　平
わたしの昭和（12）　昭和30年代の子供の遊び　橋口　滿
二つのシヌグ論をめぐって　松原　武実
福岡藩みやま市瀬高町小田唐尾　八坂神社風流　牧島　知子
資　料
　明治二年　神社方日帳（神仏分離）―川邊村―
　　神仏分離（廃仏毀釈）資料について　所﨑　平
　（寛政元年）一向宗掛合印形帳・（天明七年）切支丹宗門一紙帳　前床　重治
事務局だより
　会計報告／活動報告　所﨑　平
　例会報告　2020年（令和2年）11月例会　研究発表「藩政時代の鹿児
　　島城下の太鼓踊の記録」松原武実、「蟲の民俗語彙」橋口滿　（松原）
　例会報告　2020年（令和2年）12月例会　研究発表「植物の民俗語彙」

橋口滿、「鹿児島の農具について」小野恭一　（松原）
例会報告　2021年（令和3年）4月例会　研究発表「民俗芸能の伝承とこれから～南種子町の事例～」石堂和博、「近海漁に使われた串木野の小型和船」南竹力　（松原）

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013平良市下里1223-8　下地和宏気付　℡0980-72-9963
年3000円　1977年創刊　https://kyodoshiken.ti-da.net
◇245　2021.7　B5　8p
7月定例会レジュメ　神山墳群の巡検　久貝　弥嗣
8月定例会レジュメ
地下ダムの先駆者たち～地下ダムが実現するまで　池城　直
5月定例会のまとめ　東平安名崎一帯の津波石の巡検と課題　久貝　弥嗣
6月定例会のまとめ　特攻艇秘匿壕の巡検　與那覇史香
沖縄県立博物館・美術館エントランスミニ展示『明和津波襲来250年大津波の痕跡を探る』の実施概要と緊急事態宣言下における対応
山本正昭／宇佐美賢
十二・十三世紀の陶磁器と宮古　下地　和宏
宮古島市史第二巻祭祀編（下）『みやこの祭祀』悉皆調査　下地　和宏
与並岳生著「新訳　宮古島旧記」　仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆狭山湖―水底の村からの発信
宮本八恵子著　さいたま民俗文化研究所（〒359-1146　埼玉県所沢市小手指南5-6-9）2019年9月　A5　255頁　2700円＋税
現在、東京都民の水がめとして満々と水を湛える村山貯水池「多摩湖」と山口貯水池「狭山湖」。本書では、昭和9年（1934）の狭山湖誕生まで、狭山丘陵山麓の自然豊かな村において営まれていた「水底の村」の姿を、丹念な文献・聞き取り調査や多数の写真・民具などの資料をもとに描き出す。一　多摩湖と狭山湖（貯水池の建設工事、貯水池建設工事に伴う移転、観光地と近代化遺産、コラム　狭山富士とオープンカー）／二　湖底のふるさと勝楽寺（狭山丘陵と勝楽寺、勝楽寺の語り部）／三　水底の村からの発信（勝楽寺の環境、コラム　マムシの大脱走、勝楽寺の仕事と暮らし、コラム　勝楽寺だるま、コラム　機仲間が集う佛藏

院、コラム　酒屋に嫁いだ徳治郎の妹、コラム　「勝楽寺稀物」、コラム　「可津良絣」、コラム　絣づくりに適さなかったハラの水と土壌、勝楽寺の住まい（屋敷と主屋と付属建物、水まわり）、コラム　大笠に立つ電柱、コラム　今も残る移転当時の建物、勝楽寺の食卓、勝楽寺の子どもたち）／四　勝楽寺モノ語り（暮らしと民具、生業を語るモノ、村のつきあいを語るモノ）／五　湖底のアルバム／付図「カキコミマップ湖底のふるさと」／結びにかえて

◆村会雑俎2　佐倉市史料叢書

佐倉市史編さん委員会・佐倉市編・刊（〒285-0038　千葉県佐倉市弥勒町78　佐倉市立佐倉図書館　佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当(担当：日暮)　℡043-486-3478）2021年3月　A4　205頁

佐倉に関わる貴重な文献史料を紹介する佐倉市史料叢書。本書には、『村会雑俎1』(2020年3月)に続き、根郷村会議員や同村長を歴任した渡辺庄治氏が、根郷村会に関する書類や通知を丹念に綴り作成した史料「村会雑俎」(渡辺庄一郎家文書)のうち、明治43年(1910)から大正2年(1913)までを収録する。刊行にあたって(西田三十五)／村会雑俎2　明治四十三年、明治四十四年、明治四十五年、大正元年、大正二年／付録　一　歴代存置用印、二　歴代助役印、三　歴代収入役印、四　村会議員署名、根郷村役職者の在職期間について、渡辺庄治履歴、五　印旛郡内組織印(1)、村会雑俎文書一覧、六　印旛郡内組織印(2)、地名事項索引、七　印旛郡内組織印(3)、人名索引、根郷村全図

◆令和2年度企画展　ちばの縄文　貝塚からさぐる縄文人のくらし

千葉県立中央博物館編・刊（〒260-8682　千葉市中央区青葉町955-2　℡043-265-3111）2020年10月　A4　22頁

千葉県立中央博物館の令和2年度企画展解説書。全国の約3割、約700か所が所在する千葉県の貝塚を中心とする縄文遺跡から出土したさまざまな遺物を通して、千葉の縄文時代、縄文文化を紹介する。ご挨拶(古泉弘志)／Ⅰ　縄文研究のはじまり（貝塚は絶好のフィールド、考古学のものさしづくり)／Ⅱ　貝塚からさぐる縄文人のくらし（古環境をさぐる、縄文人をさぐる、食生活をさぐる、コラム　炭素・窒素安定同位体分析からさぐる縄文人の食生活(米田穣)、活動範囲をさぐる、心をのぞく)／Ⅲ　ちばの発掘最前線！（ちばの発掘最前線！)／おわりにかえて／コラム　千葉県博図公連携事業／展示資料リスト

◆一般社団法人儀礼文化学会　四十年の歩み

儀礼文化学会（〒160-0012　東京都新宿区南元町13-7　℡03-3355-4188）2021年4月　A4　88頁

國學院大學の研究会「儀礼文化研究会」から昭和56年4月12日に新たに出発した儀礼文化学会の40年にわたる活動をまとめる。口絵／創立四十周年を迎えて(中島精太郎)／儀礼文化学会の生い立ちと未来(倉林正次)／四十年の歩み　昭和56

年度～昭和63年度／四十年の歩み　平成元年度～平成10年度／四十年の歩み　平成11年度～平成20年度／四十年の歩み　平成21年度～令和２年度／儀礼文化学会歴代会長／会員情報／儀礼文化学会　本科修了生／あとがき（辻口正雄）

◆江戸東京ご利益事典

長沢利明著　笠間書院（〒101-0064　東京都千代田区神田猿楽町2-2-3　℡03-3295-1331）2021年6月　A５　504頁　2300円＋税

東京都内にある民間信仰・庶民信仰の対象としての諸神仏、特に具体的なご利益分野をもつものや民俗学的に重要な638の「ご利益神仏」を取り上げ、その効験とご利益、そうした信仰の生まれた歴史的経緯などをわかりやすく、簡略に解説した「ご利益神仏事典」。はじめに／凡例／ご利益神仏638（50音順）／あとがき／地域別索引／ご利益別索引／祭神・本尊別索引／コラム　丑刻参り、虫歯と楊枝、新型コロナと新たな信仰、新型コロナとアマビエ、受験合格のご利益

◆清瀬市史 資料調査報告4　資料編古代・中世補遺

清瀬市編・刊（〒204-8500　東京都清瀬市中里5-842　清瀬市企画部市史編さん室　℡042-492-5111）2021年3月　B５　91頁

市制施行50周年を記念する新『清瀬市史』の第1冊として刊行された『清瀬市史3　資料編　古代・中世』（2020年3月）の補遺編。未収録の戦国期古文書69点、カラー口絵９点の合わせて78点の古文書を収録する。口絵／（一）大石氏の文書と花押／（二）山内上杉氏の文書と花押／（三）北条氏照の文書と花押／（四）北条氏照家臣の文書と花押／（五）関連する文書と花押／協力者一覧／清瀬市史編さん関係者一覧／あとがきにかえて（浅倉直美）

◆佐藤元萇日記　補注付

安藤昌益と千住宿の関係を調べる会　佐藤元萇日記解読班編（〒123-0852　東京都足立区関原2-14-20-105　矢内信悟方　℡03-3887-8021）　歴史春秋出版（〒965-0842　福島県会津若松市門田町中野大道東8-1　℡0242-26-6567）2020年4月　A５　344頁　4500円＋税

会津藩出身の幕府医学館助教授、会津藩江戸藩邸医学教授として活動し、幕末から明治期の先住史・会津史・医学史の解明に寄与した、安藤昌益や森鴎外の研究者待望の書『佐藤元萇日記』が、発見から十年の解読作業を経て、ついに発刊される。地域文化史の視座から（網野孔介）／単行本『佐藤元萇日記』刊行にあたって（相川謹之助）／第一巻　漫游日記（嘉永4年〈1851〉2月16日～嘉永5年〈1852〉8月21日）／第二巻　麋廩録（嘉永5年〈1852〉8月22日～嘉永6年〈1853〉1月11日）／第三巻　起居注（一）（嘉永7年〈1854〉2月29日～安政2年〈1855〉12月12日）／第四巻　起居注（二）（文久3年〈1863〉1月元旦～元治元年〈1864〉10月29日）／第五巻　起居注（三）（元治元年〈1864〉11月1日～慶応2年〈1866〉7月10日）／第六巻　伴鶯日記（一）（慶応4年〈1868〉2月28日～明治元年〈1868〉12月27日）／第七巻　伴鶯日記（二）（明

治2年〈1869〉1月元旦～明治3年〈1870〉8月14日）／第八巻　伴鶯日記（三）（明治3年〈1870〉8月15日～明治4年〈1871〉11月21日）／参考文献等／あとがき（矢内信悟）／別冊　補注（A5　117頁）

◆自然暦と環境口誦の世界

野本寛一著　大河書房（〒102-0073　東京都千代田区九段北1-7-8　関山ビル3F　℡03-3288-3354）2021年4月　A5　341頁　5200円＋税

著者の長年にわたるフィールドワークの中で書き留められた自然暦、環境口誦を分類・集成する。序章―自然のしるべと人の営み／第Ⅰ章　自然暦（花、木の葉―芽立ち・芽生い・色みと落葉・木の実、生きもの、雪、指標となった人の営み）／第Ⅱ章　環境口誦　気象（風、雪、台風の予兆伝承、雲、雨、雷、霜と霧、氷、日々の天気予測）、海象・天象（潮動と民俗、月の盈虚と人為）、諸象拾遺（地形・焼畑適地、動物伝承、豊作・豊漁の予兆）／第Ⅲ章　旅途掌考（種籾に寄せて、銚子大漁節、社会変容の中で風化するもの―櫓舟と風を緒として、水納島の環境と民俗―知念勇吉さんの語りから、「寒」の民俗、白い花の譜、しだれ桜と髯籠）／あとがき

◆村野日誌１　明治42-43年　武相近代資料集1-1

村野日誌研究会・町田市立自由民権資料館編（〒195-0063　東京都町田市野津田町897　℡042-734-4508）　町田市教育委員会刊　2021年1月　A5　132頁

武州多摩郡野津田村（現町田市野津田町）の出身で、民権家・政党政治家として活躍する一方、横浜倉庫株式会社・横浜鉄道株式会社・横浜日日新聞社・満洲日日新聞社などの経営に携わった村野常右衛門（1859年8月3日〈安政6年7月25日〉～1927〈昭和2〉年7月30日）の日誌を翻刻・収録。日誌全25冊のうち、本書には明治42年・43年分を収録する。巻頭写真／刊行にあたって（町田市教育委員会）／解題Ⅰ　村野日誌研究会について（川﨑華菜）／解題Ⅱ　「村野日誌」一・二　解題（齋藤智志）／史料Ⅰ　村野日誌　一　明治42（1909）年／史料Ⅱ　村野日誌　二　明治43（1910）年／解題Ⅲ　村野常右衛門の経歴について（松崎稔）／論考Ⅰ　近代倉庫業の形成と横浜倉庫の創業―村野日誌の舞台背景（佐藤敏彦）／論考Ⅱ　モノとしての歴史資料を考える―村野日誌の史料学的考察（淺井良亮）／村野日誌研究会　活動記録　2016～2020年／村野日誌研究会会員／謝辞（村野日誌研究会）

◆万葉集と東アジア世界　下

川勝守著　汲古書院（〒102-0065　東京都千代田区西神田2-4-3　℡03-3265-9764）　2021年5月　A5　786＋78頁　9000円＋税

『万葉集と東アジア世界　上』（汲古書院、2020年4月）に続き、万葉歌人たちがいかなる環境で歌を詠んだか、その環境を天平時代当時とその直近の時代に即して、東アジアの国際的環境との関連で広く捉える。はじめに／凡例／第十章　万葉集における宮廷歌の古典とその分類　その四／第十一章　古今の相聞往来の歌の類

の上／第十二章　古今の相聞往来の歌の類の下／第十三章　万葉集歌総合の補遺／第十四章　万葉集歌における東歌の世界／第十五章　天平八年の遣新羅使悲別贈答海路慟旅陳思作歌及び夫婦離別贈答歌／第十六章　由縁有る雑歌／第十七章　天平二年十一月より天平二十年春、大伴家持の公務と作歌活動／第十八章　天平二十年春より天平勝宝二年春、大伴宿禰家持の公務勤務と作歌活動／第十九章　天平勝宝二年三月朔日より同五年二月二十五日まで、及び古歌の追補／第二十章　天平勝宝五年五月朔日より天平宝字三年正月一日、及び古歌の追補／『万葉集と東アジア世界』結びの二章　第一章　大伴家持と万葉集、第二章　万葉集と東アジア世界／跋／上巻目次／万葉集読み方用例索引／索引

◆仏像図彙　祖師・道具部　禅研究会影印叢書Ⅰ

西山美香編　禅研究会（〒231-0859　横浜市中区大平町96　A603）2021年6月　B5　117頁　1250円＋税

江戸期の浄土宗の学僧　義山良輝(1648～1717)著『諸宗　仏像図彙』(元禄3年〈1690〉版)と『増補諸宗　仏像図彙』(天明3年〈1783〉版・明治19年〈1886〉版)より、『増補　仏像図彙』所収の「祖師・道具」部分と、それに該当する『仏像図彙』の影印を掲載する。影印　1章　『仏像図彙』『増補仏像図彙』祖師（護法、戒賢、智鳳、窺基、清弁、鳩摩羅什、道融、慧灌、世親、道空、訶梨跋摩、善無畏、優婆毬多、鑑真、叡尊、俊芿、普寂、恵蔵、慧思、智顗、章安灌頂、湛然、最澄、円仁、良源、円珍、源信、覚超、龍樹、龍智、金剛智、不空、善無畏、一行、恵果、空海、達磨、慧可、僧璨、道信、弘忍、慧能、馬鳴、龍樹、世親、菩提流支、曇鸞、道綽、善導、法然、親鸞、日蓮、玄昉・智泉、菩提僊那・明恵、行基・貞慶、泰澄・良弁、叡尊・覚鑁、性空・聖宝、臨済義玄・百丈慧海、道元・隠元、夢窓疎石・円爾、無関普門・春屋妙葩、栄西・開山慧玄、宗峰妙超・文覚、中将姫・永観、空也・弁長、良忍・証空、延鎮・称念、一遍・重源、国阿・証空、日像・日興、覚信尼・真仏、寒山・拾得)／参考文献　『仏像図彙』祖師部の残り、『増補仏像図彙』当該図版(明治19年版)　十大弟子、維摩居士・役行者、聖徳太子／2章　『増補諸宗仏像図彙』道具（天明3年版：偶数頁　明治19年版：奇数頁)／3章　『増補諸宗仏像図彙』序・目録・跋・刊記（序・目録（明治19年版)、跋(天明3年版)、刊記(天明3年版・明治19年版))／解説(西山美香)

◆講座・古代王権の興亡　第12回　日本の神話について(9)

大国主神と国作りの物語　妙見山麓遺跡調査会紀要41

神崎勝著　ＮＰＯみょうけん（〒679-1214　兵庫県多可郡多可町加美区的場294　℡0795-35-0555）2021年7月　A4　36頁

ＮＰＯみょうけん(妙見山麓遺跡調査会)主催の新講座「古代王権の興亡」第12回(2021年4月17日　19：00～21：00)の記録。1. 国作り神話の概要／2. 木俣神の神話について／3. 国作り神話の舞台について／4. 国作り神話の語り手と聞き手

について／5. オホナムチの異名について／6. 出雲系神統譜について／質疑／付論　アヂスキタカヒコネの名義について（平林章仁）

◆後記

８月11日の『東京新聞』夕刊第一面に、憲法学者 芦部信喜の出身地、長野県駒ケ根市の土蔵から、自らが編集発行していたガリ版刷り雑誌『伊那春秋』第４号が発見され、そこに新憲法公布直後の1946年11月に23歳で書いた６千字に及ぶ「新憲法とわれらの覚悟」が掲載され、国民主体の覚醒を訴えていることが大きく報じられた。これは既に、７月16日付の「信毎web」で伝えられ、昨年12月に刊行された渡辺秀樹著『芦部信喜　平和への憲法学』（岩波書店）で明らかにされたことでもある。『伊那春秋』は、駒ケ根市に接する上伊那郡宮田村生まれの民俗学者向山雅重が投稿したこともある雑誌かと思った。向山は上伊那郡内の小・中学校で教壇に立つ傍ら、県内をくまなく歩き、這いつくばるようにして民俗採集したことから、柳田國男の白足袋史学に対し、草鞋史学と称された。1970年には『信濃民俗記』で柳田賞を受賞している。宮田村の向山雅重民俗資料館に照会したところ、教育委員会文化財担当係長の小池勝典さんから、向山の論考を掲載した号のデータをいただくことができ、向山が投稿した『伊那春秋』は1958年から68年ごろに伊那春秋社から発行されたもので、まったくの別雑誌であることが分かった。慌てて買ったままで殆ど読んでいなかった『芦部信喜　平和への憲法学』を開いてみた。驚くべきことに、向山は1931年に赤穂尋常高等小学校に赴任し、二年生の芦部の担任になっていた。向山は児童を野外に連れ出し、自然や農村風景、労働の様子などを細かく観察させ、ノートに記録するフィールドワークの手法を指導した。芦部はその時のノートを終生大事にし、雑誌『信濃教育』の向山追悼号に、「この私の憲法論には向山先生から学んだ、徹底して対象を観察する授業からの影響も少なくない」と記した。歌人でもあった向山は、最晩年に病床を見舞った芦部を、「はるばると来たまひし君しづかなる面（おも）わは少年の日にも変わらず」と読んだ。短歌誌『アララギ』誌上、向山の最後の歌になったという。素晴らしい出会いに感動した。　（飯澤）

地方史情報 151　2021年（令和３年）９月１日　発行
編集・制作　：白 鳥 舎　hakucho@eris.ais.ne.jp
ウェブサイト公開：岩田書院　http://www.iwata-shoin.co.jp
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103　TEL03-3326-3757

＊本誌は，140号より，PDF版のみの発行です。